



全国高等専門学校デザインコンペティション  
デザコン2007 in 周南 記録集

**デ**  
Bridge  
「用強美」ステンレス & バスタブリッジの作成

**ザ**  
LED  
環境に優しいLEDを使った照明デザイン

メインテーマ  
**つながり**  
～頭の中は、宇宙より広い～

**コ**  
City Planning  
元気を失った街が蘇るアイデア勝負

**ン**  
Wood Works  
動物園の手作りファニチャー

# 目 次

ご挨拶	1
実施概要	2
全国高等専門学校デザインコンペティション 2007 in 周南	3
構造デザインコンペティション募集概要	4
環境デザインコンペティション募集概要	4
空間デザインコンペティション募集概要	5
ものづくりデザインコンペティション募集概要	5
全国高専デザインコンペティション 2007 in 周南 応募状況等一覧	6
構造デザインコンペティション本選出場作品一覧及び審査結果 (ステンレスブリッジ)	7
構造デザインコンペティション本選出場作品一覧及び審査結果 (パスタブリッジ)	8
環境デザインコンペティション本選出場作品一覧及び審査結果	9
空間デザインコンペティション本選出場作品一覧及び審査結果	9
ものづくりデザインコンペティション本選出場作品一覧及び審査結果	10
審査員紹介	11
イベントスケジュール	15
共通行事	16
全国高等専門学校デザインコンペティション 2007 in 周南 開会によせて	17
特別講演要旨	18
構造デザインコンペティションの経過及び審査結果	20
環境デザインコンペティションの経過及び審査結果	24
空間デザインコンペティションの経過及び審査結果	30
ものづくりデザインコンペティションの経過及び審査結果	36
スナップ/大会を支えた人たち	42
報道記事	45
協賛企業・団体名一覧	47
委員紹介	48

## 「全国高等専門学校デザインコンペティション 2007 in 周南」 の記録集発行にあたって



全国高等専門学校デザインコンペティション  
実行委員会委員長（徳山工業高等専門学校長）  
平野 千博

「全国高等専門学校デザインコンペティション 2007 in 周南」の記録集発行にあたって、主管校として本大会の開催にあたりました徳山工業高等専門学校の校長として、また、全国高等専門学校デザインコンペティション実行委員会委員長としてご挨拶申し上げます。

「全国高等専門学校デザインコンペティション 2007 in 周南」は、昨年（2007年）11月、山口県周南市で開催し、無事終了することができました。本大会の開催にあたり、多大なご支援・ご協力を賜りました文部科学省、国土交通省、山口県、周南市をはじめ多数の関係機関・団体や企業の皆様方、審査員の先生方、そして、大会会場までお出でいただいて高専生の競技を応援いただき、大会を盛り上げていただいた市民の方々に対しまして、まづもって、心から御礼申し上げます。

本大会は、全国高等専門学校デザインコンペティション（通称：高専デザコン）としては第4回目の開催になります。高専デザコンは、デザインの領域を「人が生きる生活環境を構成するための総合技術」と捉え、高等専門学校で学ぶ学生の知識と技術と創造力の発揮の場として開催されているものです。

今回の高専デザコンにおいては、メインテーマを「つながり」とし、「頭の中は宇宙（ソラ）より広い！」をキャッチフレーズとして、4つの競技部門（構造デザイン、環境デザイン、空間デザイン、ものづくり）を設定いたしました。これに対し、大変ありがたいことに、全国33校の高等専門学校から359点という多数の応募をいただきました。本大会に積極的にご参加いただいた全国の高専生と高専関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

応募作品は、いずれも、高専生の若々しい感性と創造力を感じさせるものであり、人々の暮らしをより良くしていくための魅力的なアイデアを提案するものでした。競技の過程で行われた各参加チームのプレゼンテーションも素晴らしく、誠にこの大会は、我が国の高専生のレベルの高さ、高専教育の水準の高さを強く印象付けるものでした。このことを高専教育に携わるもの一人として心から誇らしく感じております。

このたび、今回の高専デザコンの成果等を記録集として発行することになりました。この記録集が今回の大会の素晴らしさを記録にとどめ、今後の高専デザコンの発展に寄与することを祈念するとともに、高専デザコンのますますの発展を願ひまして私のご挨拶とさせていただきます。

# 実施概要

- 名称** 全国高等専門学校デザインコンペティション 2007 in 周南
- 主催** 高等専門学校連合会
- 開催主管校** 徳山工業高等専門学校
- 後援** 文部科学省, 国土交通省, 山口県, 周南市  
 (社) 文教施設協会, (社) 山口県建設業協会, (社) 山口県建築士会,  
 (社) 日本建築学会, (社) 土木学会, (社) 日本コンクリート工学協会,  
 (株) 日刊建設工業新聞社, 山口放送 (株), (社) 土木学会中国支部
- 大会メインテーマ** つながり
- 募集内容** 全国の高等専門学校で技術教育を受ける学生に, 生活環境関連のデザインをコンセプトとして, セッションごとに課題を与え競技を実施した。  
 セッション名及びサブテーマ  
 I 構造デザインコンペティション (サブテーマ: ブリッジコンテスト)  
 II 環境デザインコンペティション (サブテーマ: みちのあかり)  
 III 空間デザインコンペティション (サブテーマ: 新まちなか居住施設)  
 IV ものづくりコンペティション (サブテーマ: 動物園ファニチャー)
- 応募資格** 全国の高等専門学校に応募の時点で在籍する学生

**審査**

1. 予選

区分	期日	会場
環境デザインコンペティション	平成 19 年 9 月 28 日 (金)	前田道路株式会社
空間デザインコンペティション	平成 19 年 9 月 18 日 (火)	徳山工業高等専門学校
ものづくりコンペティション	平成 19 年 9 月 24 日 (月)	徳山工業高等専門学校

2. 本選 (プレゼンテーション・競技による審査)

期日 平成 19 年 11 月 16 日 (金) ~ 17 日 (土)

会場 〒745-0851 山口県周南市徳山 427 番地

周南市総合スポーツセンター

**表彰** 次の賞を授与した。

構造部門	環境部門	空間部門	ものづくり部門
最優秀賞 1点 (文部科学大臣賞)	最優秀賞 1点 (国土交通大臣賞)	最優秀賞 1点 (山口県知事賞)	最優秀賞 1点 (周南市長賞)
優秀賞 2点	優秀賞 2点	優秀賞 2点	優秀賞 2点
特別賞 若干数	特別賞 若干数	特別賞 若干数	特別賞 若干数
-	-	会場審査賞	-

**入場者・応募者数**

入場者数: 延べ 2,362 人 (競技参加者 450, 審査員・来賓 51, スタッフ 280, 一般 400)

応募者数: 延べ 853 人 (構造ステンレス 113, パスタ 118, 環境 147, 空間 215, ものづくり 260)

## 1. 経緯

「全国高等専門学校デザインコンペティション」は昭和 52 年に明石高専と米子高専の建築学科で行われた建築教育における建築理論の実践プロセスについての研究交流シンポジウムがその始まりです。その後、第 23 回にあたる平成 11 年からの 5 年間は「全国高等専門学校建築シンポジウム」と改名し、全国の建築学科を持つ高専に呼びかけ建築教育の技能研鑽及び学生的设计技術の向上を研究するシンポジウムとして開催されました。そして、平成 16 年には、デザインの領域を「人が生きる生活環境を構成するための総合的技術」と捉え直し、建築学科の枠を廃し土木建築系学科を中心に高専全体が取り組む「全国高等専門学校デザインコンペティション」に生まれ変わりました。第 4 回となる本大会は周南市にある徳山高専が主管校として、これを発展的に継承したものです。

## 2. 主旨

人々の暮らしや社会が平和で豊かなものとなるようとの祈りの中で技術は進歩してきました。しかし、技術の進歩の早さは、自然の再生能力を遙かに越え、人間自ら破滅の道を歩んでいるとさえ言われています。また、インターネットの普及は、地球レベルで人と人、地域と地域の情報の連絡を容易にしましたが、一方では身近な地域の人との「つながり」を希薄にした要因の一つとさえ言われています。本デザインコンペティションは、人と人や自然と人間社会の「つながり」をテーマに、高専生の創造性と技術力を競います。社会に貢献する技術者を目指す学生が、地球規模の視点から地域の問題に取り組み、新たな「つながり」の提案に挑戦しました。

高専生のアイデアや技術力には、各方面からの期待や注目を受けています。本大会の開催地である山口県や周南市では、デザコンに向けたイベントやポストイベントを応援してくれました。デザコンを通じて市民や小中学生の科学技術やものづくりへの関心を深めて頂くことも目指しています。

## 3. 概要

競技の場として、構造デザイン、環境デザイン、空間デザイン、そして、ものづくりの 4 部門を用意し、それぞれ以下のようなサブテーマに対して、創造性と技術力を競いました。

- ◇ 構造デザインコンペティション 『ブリッジコンテスト (パスタ&ステンレス)』
- ◇ 環境デザインコンペティション 『みちのあかり - LED de Eco Road』
- ◇ 空間デザインコンペティション 『新まちなか居住施設 - とぎれた「つながり」をとりもどす-』
- ◇ ものづくりコンペティション 『「ひと」と動物の「つながり」が見える動物園ファニチャー』

各部門の最優秀作品には、文部科学大臣賞（構造デザイン）、国土交通大臣賞（環境デザイン）、山口県知事賞（空間デザイン）、周南市長賞（ものづくり）が授与されました。

## ●●●● 構造デザインコンペティション募集概要 ●●●●

### テーマ：ブリッジコンテスト

錦帯橋を見たことがありますか。山口県岩国市の錦川にかかる木造の五連の橋梁で、近年の鋼橋につながる構造形式を残しています。また、木造としての木組みや構造も興味深く、五連のアーチ形式の優美さにも驚かされます。まさに構造物に必要な「用」・「強」・「美」をすべて兼ね備えた構造です。先人技術者の知恵と研究、改良、革新的な技術の発掘と適用の繰り返しの歴史を感じさせる構造です。

さて、構造デザインとは、与えられた制約条件のもとで構造最適化を行う作業と言えます。したがって、与えられた素材、大きさ、荷重に対して幾通りもの解としての構造形態が出てくると考えられます。このデザインコンペティションでは、与えられた材料、载荷方向、支持の条件のもとで、その荷重に耐える（「強」）構造物（「用」）を構造の美しさ（「美」）を兼ね備えたものとして提案して頂きます。また、構造様式については、これまで経験した構造様式の知識を基礎として、創造性を大いに発揮して構造の三要素を兼ね備えた新しい構造を提案して頂きます。技術力と創造性で物と物、夢と夢、人と人を「つなぐ」ブリッジのコンテストとなることを期待しています。

## ●●●● 環境デザインコンペティション募集概要 ●●●●

### テーマ：みちのあかりー LED de Eco Road

これからのみちづくりには、バリアフリーへの対応や安心、安全だけでなく、環境への配慮が求められています。また生活は多様化し人々は昼夜を問わない生活環境となっています。人が歩くみち（道、路、道路）は、地上、地下、海中、または都会、過疎地域、海辺、山野と数限りなく存在します。人々がみちに求めるあかりも単なる照明器具ではなく、様々なものとの複合化によって「みち」に新たな価値を与える可能性があります。これからみちのあかりは単に道を照らすだけでなく、みちを使う人々にとって、安心、安全、楽しみ、癒しなどの新たな価値を与え、かつ、環境への配慮があるものでなくてはなりません。

そこで、環境コンペティションでは、少ないエネルギーと簡単な制御によってあかりをとす新しい発光技術「発光ダイオード LED」を用いた新しいみちづくりの方法を提案してもらいます。

なお、LED という新しい技術を活かすコンテストとして、土木・建築系の学生の参加はもとより、機械・電気・情報・電子系など、異分野の学生混成のコラボレーションも期待しています。

## 空間デザインコンペティション募集概要

### テーマ：新まちなか居住施設 –とぎれた「つながり」をとりもどす–

地方都市において中心市街地の空洞化とその活性化は数年来の問題となっています。かつてのにぎわいの街は空き地や空き店舗によって連続性がとぎれてしまい、もとにもどす努力も無人契約機や自動入退出管理の駐車場では人の住むまちのつながりをとりもどしたことはなっていません。

一方、生活利便性を求める人々には地価下落により手頃な価格帯で供給される市街地マンションが人気を集め、まちなか居住が進展しています。しかし、既存の市街地へ割り込み、外部に対して閉鎖的なたたずまいは、その形態が暗示するように、異質なものが連続性のとぎれを満たすだけで、新たな居住者と既存コミュニティとのつながりは稀薄なケースが多いのが現実です。

そこで、衰退した中心市街地の空き地や空き店舗に新たなまちなか居住のための施設の提案を求めます。提案は住宅に限定するものではなく、中心市街地やその周辺の住民の生活を支える地域施設やそれらの複合施設等も想定可能です。とぎれたまちに新たな人の「つながり」を創出してください。

## ものづくりコンペティション募集概要

### テーマ：「ひと」と動物の「つながり」が見える動物園ファニチャー

人は、身近な動物とのふれあいから「いのち」の大切さを学んできました。近年、核家族化が進み、少子化が進む現代の子供達において「いのち」を軽視する悲しい行動、出来事が頻発しています。いのちあるものに触れ、いのちの感動を得て、いのちといのちの「つながり」を尊ぶ心を育む環境が必要とされています。

周南市には市立の徳山動物園があります。最近では、全国的にも知名度を上げたマレーグマの「ツヨシ君」などの人気動物の登場の他、夜間開園やフライトショーなど徳山動物園スタッフのたゆまぬ努力によって来場者数も増加しています。今回のコンペティションは、こうした動物園の努力をものづくりによって後押しする企画です。

動物園内に、「ひと」と動物の「つながり」が見える動物園ファニチャーを提案、製作していただきます。地方都市における動物園のあり方や将来像を考えながら、ユニークで暖かみのある動物園ファニチャーの提案を期待します。

● ● ● ● ● 全国高専デザインコンペティション2007in周南 応募状況等一覧 ● ● ● ● ●

地区等	高専名	学 科 等 名	構造デザイン		環境デザイン		空間デザイン		ものづくり	
			ステン	バスタ	予選	本選	予選	本選	予選	本選
北海道	1 函館工業高等専門学校	環境システム工学専攻		1						
	2 苫小牧工業高等専門学校									
	3 釧路工業高等専門学校	建築学専攻	1	1	4	1	1		1	
	4 旭川工業高等専門学校									
東北	5 八戸工業高等専門学校	建設環境工学専攻	1	1						
	6 一関工業高等専門学校									
	7 宮城工業高等専門学校	建築学専攻	1	1	2		5		2	
	8 仙台電波工業高等専門学校									
	9 秋田工業高等専門学校	環境都市工学専攻			1	2		1		
	10 鶴岡工業高等専門学校									
関東信越	11 福島工業高等専門学校	建設環境工学専攻	1	1			5			
	12 茨城工業高等専門学校									
	13 小山工業高等専門学校	建築学専攻	1	1	1	1	4	1	1	
	14 群馬工業高等専門学校	環境都市工学専攻					2	1	1	1
	15 木更津工業高等専門学校									
	16 東京工業高等専門学校									
	17 長岡工業高等専門学校	環境都市工学専攻 + 機械工学専攻	1	1						1
東海北陸	18 富山工業高等専門学校									
	19 富山商船高等専門学校									
	20 石川工業高等専門学校	建築学専攻			7	2	11	1	1	
		環境建設工学専攻			1		1	1		
		建築学科 + 電気工学科 + 環境都市工学科 + 環境建設工学専攻	1	1						
	21 福井工業高等専門学校	環境都市工学専攻	1	1						
	22 長野工業高等専門学校	環境都市工学専攻	1	1						
	23 岐阜工業高等専門学校	建築学専攻					4	2		
	24 沼津工業高等専門学校	建設工学専攻	1	1						
		建築学専攻	1				8	4	9	3
	25 豊田工業高等専門学校	建築学科 + 電気電子システム工学科			1	1				
	環境都市工学専攻		1							
	建設工学専攻							1	1	
近畿	26 鳥羽商船高等専門学校									
	27 鈴鹿工業高等専門学校									
	28 舞鶴工業高等専門学校	建設システム工学科	1	1						
		建築学専攻			1		34	3	5	2
	29 明石工業高等専門学校	建築学科 + 建築・都市システム工学専攻	1	1						
中国	30 奈良工業高等専門学校									
	31 和歌山工業高等専門学校	機械工学科 + 環境都市工学科	1							
		環境都市工学科 + エコシステム工学専攻		1						
	32 米子工業高等専門学校	建築学専攻		1	11	4	35	2	38	3
		建築学専攻					9	2	1	1
		建築学科 + 建築学専攻	1							
	33 松江工業高等専門学校	生産・建設システム工学専攻	1							
		環境・建設工学科		1						
		電子情報システム専攻 + 情報工学科 + 電気工学科 + 電子制御工学科			1	1				
	34 津山工業高等専門学校									
四国	35 広島商船高等専門学校									
	36 呉工業高等専門学校	建築工学専攻			1	1				
		建築学専攻					10	2		
		環境建設工学専攻			1					
		環境建設工学専攻 + 情報電子工学専攻 + 機械制御工学専攻			1					
	37 徳山工業高等専門学校	土木建築工学科	1	1	12	4	7		12	1
		土木建築工学科 + 機械電気工学科			1					
38 宇部工業高等専門学校										
39 大島商船高等専門学校										
九州沖縄	40 阿南工業高等専門学校	建設システム工学科	1	1	3	2			2	
	41 高松工業高等専門学校	建設環境工学専攻	1	1						
	42 詫間電波工業高等専門学校									
	43 新居浜工業高等専門学校	機械工学科	1	1						
	44 弓削商船高等専門学校									
	45 高知工業高等専門学校									
公立	46 久留米工業高等専門学校	機械工学科		1						
	47 有明工業高等専門学校	建築学専攻		1	1		2		2	
	48 北九州工業高等専門学校									
	49 佐世保工業高等専門学校									
	50 熊本電波工業高等専門学校									
	51 八代工業高等専門学校	土木建築工学科	1				6	1		
	52 大分工業高等専門学校	都市システム工学科								
	53 都城工業高等専門学校	建築学専攻	1	1			4		5	2
	54 鹿児島工業高等専門学校	土木工学専攻	1	1						
	55 沖縄工業高等専門学校									
私立	56 札幌市立高等専門学校									
	57 東京都立産業技術高等専門学校									
	58 大阪府立工業高等専門学校	建設工学科	1							
	59 神戸市立工業高等専門学校	都市工学科	1	1						
	60 サレジオ工業高等専門学校	デザイン工学科			6	3	3		6	
	61 金沢工業高等専門学校									
62 近畿大学工業高等専門学校	建設システム工学科		1	4		1		1		
	電気情報工学専攻 + 建設システム工学科			1						
合計		応募総数 / 本選参加数	26校 26点	29校 29点	15校 62点	10校 20点	17校 153点	8校 20点	14校 89点	7校 15点

本選参加校計 33 高専 (45 学科 15 専攻)

構造デザインコンペティション本選出場作品一覧及び審査結果

ステンレスブリッジ

審査結果	番号	作品名	高専名	学生氏名	指導教員
	1		函館	(パスタのみのエントリー)	
	2	Bridge Of Cranes	釧路	堀内 銀、清野岳志、平澤宙之	森 太郎、井上圭一
	3	荷重 100%	八戸	川村竜之介、小笠原晃久、小倉優大、坂本竜一、盛 祐介	丸岡 晃
	4	麻疹?	宮城	高橋直生、阿部知也、菊池 健、櫻井尚道、佐藤俊之、ヘアン・ソクリー	飯藤将之
	5		秋田	(パスタのみのエントリー)	
	6	AQUA BY-PASS	福島	田久智行、ONEK DENIS OBEDI	根岸嘉和、緑川猛彦
	7	ザ 肉 GYOUZA	小山	柳田晴哉、小島康太郎、会田圭佑、酒井健太	大島隆一
	8	Dへの挑戦	群馬	高瀬陽彦、高橋大介、木暮美仁	三上 卓、古川 茂
	9	宇寿屋	長岡	本間達朗、笠原崇佑、小林豊和、木村直紀、村山洋樹	塩野計司
	10	加賀百万石巻き	石川	中野大規、谷口雄大、河内佑介、辻昌紀、喜多佑介、三浦幸太	永藤壽宮
	11	お〜い橋	福井	村中 誠、上田拓哉、佐々木康二、早川泰央、平野文睦、森下博文	阿部孝弘
	12	未来へ	長野	山崎浩大、タック、原野昌樹、渡瀬陽平、堀内拓也	船戸慶輔
	13	大岩ステンレス	岐阜	大岩勇太、湯下清史、大西裕太郎、西脇 巧、竹中皓洋、堀 翼	下村波基
	14	おいでん橋	豊田	小倉拓也、福田政久、石田大介	加藤賢治
	15	スカイ・ブリッジ	舞鶴	藤田 匠、Soukchaleune Chanthavong、藤本和也	玉田和也
	16	明石高専大橋	明石	西村圭悟、南 淳一郎、秋田陽平、杭瀬竜太	武貞健二
優秀賞	17	ステンレスモンスター	和歌山	LE DUC TRI、TEO CHIANG SHEN、MIOR ASLANDI B. MOHTAR、HII SII LEE	小川一志、辻原 治
最優秀賞 (文部科学大臣賞)	18	オリガネ	米子	鹿島孝政、安井郁也、高柳秀明、藤田尚志、森田大貴、安川大地	稲田祐二
優秀賞 審査員特別賞 (構造賞)	19	スサノオ	松江	三野誠也、宮野雅也、近藤広和	柴田俊文
	20	ぶっつけ本番	徳山	岡内 穂、木村良平、北園大和、阿部亮太、高松良太	田村隆弘
	21	Lizard's tail	阿南	相原翔太、松野浩己、加賀谷俊介、辻 佑太、加川一輝	笹田修司
	22	つまぶき4号	高松	若狭 剛、正垣翔大、山田 毅、藤本健司、西原和彦	太田貞次
	23	Marvel of Art II	新居浜	田村健一、大石章裕、水関康晴	谷口佳文
	24		久留米	(パスタのみのエントリー)	
	25		有明	(パスタのみのエントリー)	小野聡子
	26	KANAME 橋 Ver.2	八代	江島良介、高木良太、浜上祐輔	岩坪 要
辞退	27	骨組みはステンレス	都城	横山和美、尾園正樹、東郷尚平	板倉和則
	28	ピラミッド橋	鹿児島	葛迫龍司、柚木公平	内谷 保
	29	ケン bridge	大阪	小林達宏、上村 学、岡本和也、金森慎治、福山一翔、松崎 勝	岡南博夫
	30	やっぱりアーチ	神戸	黒木康平、高田泰伺、須山翔太、藤井暢彦、土田恭平、岩田諒介	中西 宏
	31		近畿大	(パスタのみのエントリー)	

構造デザインコンペティション本選出場作品一覧及び審査結果

パスタブリッジ

審査結果	番号	作品名	高専名	学生氏名	指導教員
	1	いかおどり橋	函館	佐藤 亨、工藤恭大、奥山雄介、川嶋友士、川村小百合、須藤卓哉	平沢秀之
審査員特別賞 (デザイン賞)	2	トルデラート	釧路	後藤祐貴、鎌田俊也、中村貴大、梅原祐介、村井光、佐藤捺美	森 太郎
	3	アルデンティーノ	八戸	新谷貴嗣、高木龍城、塚本欣也、月居和也、中嶋龍一朗	丸岡 晃
	4	trapezium bridge	宮城	森 光平、百瀬裕規	李 晚在
	5	VOX !	秋田	目黒孝行、松岡伸悟	日野 智
	6	Double-Warren Truss	福島	小野雅裕、高橋健太	根岸嘉和、 緑川猛彦
	7	ペペろんちーの	小山	吉原 晃、桐原稔征、高田雄一	大島隆一
	8	Hikari	群馬	佐藤達也、佐藤直哉、高橋大介	三上 卓、 古川 茂
	9	久保田	長岡	本間達朗、笠原崇佑、小林豊和、木村直紀、村山洋樹	塩野計司
	10	石垣	石川	中野大規、谷口雄大、河内佑介、辻昌紀、喜多佑介、三浦幸太	永藤壽宮
	11	OVER THE RAINBOW	福井	土嶋雄介、藤田崇史、辻 和鉱、吉村清香、加賀川祥之、斎藤亨平	吉田雅穂
	12	オワテイル橋	長野	村山峻一郎、諏訪有祐、石川千裕、尾曾真理恵、近藤 遊	船戸慶輔
	13	サンブリッジ	岐阜	榎坂紀明、浅井絵梨香、木村善平、高橋広弥、竹下雅人、松井寛子	下村波基
	14	ブリゲッティー	豊田	糟谷賢一、チャン ヴィエト クオン、中島 涼、倉田直弥、北川真史	川西直樹
	15	キャプテン ぶい	舞鶴	中出章太、原田悟志、草野友宏	玉田和也
	16	クレグラーチ	明石	秋田陽平、杭瀬竜太、西村圭悟、南 淳一郎	武貞健二
優秀賞	17	パスタモンスター	和歌山	平野史也、大坂拓也	小川一志、 辻原 治
最優秀賞 (文部科学大臣賞) 審査員特別賞 (Gold Coast Prize)	18	米子ブリッジ	米子	和田昭弘、井田 蘭、辻 広志、吉山圭輔、富谷広基、梅林 充	松本幸大
優秀賞	19	ブリッジヘキサゴン	松江	日向雄人、森田壮志、木佐貴一、藤野祐斗	柴田俊文
	20	ピラミッド型トラス橋	徳山	岡内 穂	原 隆
	21	クロス×クロス	阿南	辻 佑太、加賀谷俊介、河崎勇人、茶原直矢	笹田修司
	22	じょんならん	高松	森谷謙一、田頭唯人、西尾竜文、藤野隼揮	太田貞次
	23	国領橋	新居浜	上路理之、大西正利	谷口佳文
	24	阜月橋	久留米	松原暁良、増山雄亮、松本恵太、久保翔太、坂口 淳、中牟田侑昌	藤田雅俊
	25	K-Bridge	有明	江頭伸一、白神知美、淵上晃太、松山透似	小野聡子
	26		八代	(ステンレスのみのエントリー)	
辞退	27	僕とパスタと時々オトン	都城	上集辰徳、森 裕次、西 祥太郎	板倉和則
	28	Cherry Island	鹿児島	中村 遼、木場光太郎	内谷 保
	29		大阪	(ステンレスのみのエントリー)	
	30	やっぱりトラス	神戸	黒木康平、高田泰伺、須山翔太、藤井暢彦、土田恭平、岩田諒介	中西 宏
	31	近大橋	近畿大	谷口友一、岡崎 巧、奥 太樹、金谷大賀、廣嶋孝哉	松岡良智

環境デザインコンペティション本選出場作品一覧及び審査結果

審査結果	番号	作品名	高専名	学生氏名	指導教員
	3	LONG ROAD BLOSSOM	米子	福田 淳	熊谷昌彦
	5	下光 -geko-	米子	坂田将一	熊谷昌彦
	8	Light to Escape	サレジオ	諸橋拓実、本多芳彰	比留間真
	13	Blossom	小山	村上祐太、平山智則	尾立弘史
	16	COMFORT × SAFETY	阿南	播 良寛	加藤研二
	17	遍路の供灯	阿南	戸田恭介、横山千尋	加藤研二
優秀賞	19	そふあみれどーろ	豊田	中島 優、上田琴恵、片平直也、宮戸 実、松枝良樹	前田博子
	22	Night View from Nusamai Park	釧路	多田陽平	森 太郎
優秀賞	27	Pole Signal	徳山	木村未希、坂本竜弥、佐藤雅紀、西山翔太郎	中川明子
	31	E as e	徳山	藤井崇嗣、浅本 光、濱崎翔平、山岡幸太	中川明子
	34	歩道を守る街灯	徳山	井上貴之、阿部飛人、岩本佳己、角友太郎	中川明子
	37	LED lights up the way	徳山	三津井牧子、稲津貴和子、廣幡啓祐、山根成史	中川明子
	38	asterisk	石川	新出あき奈、秋田麻衣、小川福嗣、谷口雄大	石渡 博
	40	[BLUE-MOMENT]	石川	辻口洋史	森原 崇
最優秀賞 (国土交通大臣賞)	49	世界遺産「石見銀山街道」を照らすLED ラトウ	松江	佐藤ひとみ、松浦愛美、高尾佳史、平尾聡美、玄行照朗	箕田充志、久間英樹、福岡久雄
	50	line	サレジオ	中島唱太、杉本佳亮、亀卦川辰也、野口真友子	杉島一男
	51	with	サレジオ	村中 森、村岡良平、真鍋ふゆみ	杉島一男
審査員特別賞 (デザイン賞)	52	ヒロシマの夜に咲くタンポポ	呉	岩田翔士	間瀬実郎
審査員特別賞 (アイデア賞)	56	照ル照ルボード ～ヒト×オト×ヒカリ～	米子	竹谷輝夫、小椋康司	熊谷昌彦
	60	光り在るまち	米子	小宮山楓、長谷川雄紀	熊谷昌彦

空間デザインコンペティション本選出場作品一覧及び審査結果

審査結果	番号	作品名	高専名	学生氏名	指導教員
	1	Area	呉	富田雅俊	西宮善幸
	9	CONTACT・CONNECT・COMMUNITY	八代	工藤菜美子	磯田節子
	15	MUTANT CITY AREA	岐阜	廣田奈々絵	今田太一郎
会場審査賞	16	学びの森	岐阜	波能麻里	鶴田佳子
	17	BUDOUNOKI	石川	横山大樹、高橋俊彦、山本知佳、四方 葵	村田一也
	32	癒しのスタジアム ー「ケア都市構想」の 実践ー	石川	馬淵大宇	河内浩志
	34	都市に咲く緑園	小山	柏 卓興	豊川斎赫
優秀賞	35	住居の FRAGMENTS	明石	河西孝平、木倉康智、本庄博希、宮本康平、山崎幸宏	工藤和美
	38	い木る間	明石	尾崎恒亮	工藤和美
	68	「下に集い、上に住まう」	明石	東 優美、大澤麻希、上月亮太、古東彩香、佐伯亮太、永田 花	大塚毅彦
審査員特別賞 最優秀賞 (山口県知事賞)	84	THE PARK	小山	高田雄一、由谷昂大	尾立弘史
	113	もうひとつのまち	米子	竹田純平、仲村友太郎	熊谷昌彦
	115	ribbon ground	米子	加納奈津子	高増佳子
	119	南北統合	米子	松本勇氣	高増佳子
	136	“繋ぐ” いえ	呉	亀本 明、東田昌子	間瀬実郎
	144	⊙⊙～人と人とのつながりは∞(無限)である～	豊田	矢野信介、神近 茜	竹下純治
	145	Pocket	豊田	脇坂みどり	竹下純治
	146	学生と住民の生活	豊田	黒部 健太	三島雅博
	147	Syunan Market	豊田	富田昌博、稲越 樹	三島雅博
優秀賞 (山崎建設賞)	153	まちリビング アクションスタディによる つながりの再生	米子	藤原佑樹、石村悠造、嶋田恭平	田口陽子

入選：予選通過作品の全てとする。



## 審査員紹介

### 構造デザインコンペティション



長岡技術科学大学工学部環境・建設系教授

長井 正嗣 氏 (ながい まさつぐ)

(プロフィール)

- 1971年 大阪大学工学部土木工学科卒業
- 1973年 大阪大学大学院工学研究科土木工学専攻修士課程修了
- 1973年 川崎重工株式会社
- 1988年 長岡技術科学大学工学部助教授
- 1996年～ 長岡技術科学大学工学部教授



豊橋技術科学大学建設工学系教授

加藤 史郎 氏 (かとう しろう)

(プロフィール)

- 1972年 名古屋大学大学院工学研究科建築学専攻博士課程修了
- 1972年 名古屋大学工学部助手
- 1978年 豊橋技術科学大学工学部助教授
- 1986年～ 豊橋技術科学大学工学部教授



若築建設株式会社取締役執行役員土木事業部門担当

渡邊 陽二郎 (わたなべ ようじろう)

(プロフィール)

- 1976年 東京工業大学工学部土木工学科卒業
- 1976年 若築建設株式会社
- 2003年 東京本社設計部長
- 2006年～ 取締役執行役員

### ■ パスタブリッジ特別ゲスト



Griffith 大学工学部講師 (オーストラリア)

Jeung-Hwan Doh (ユンフアンドウ)

(プロフィール)

- 2003年 Associate Lecturer, Griffith University
- 2003年 Ph.D, Griffith University
- 2007年 Lecturer, Griffith University
- BEng(Hons), MEng(Hons), PhD(Griffith), MIEAust

## 環境デザインコンペティション



足利工業大学 副学長・足利工業大学総合研究センター長

牛山 泉 氏 (うしやま いずみ)

(プロフィール)

- 1966年 上智大学理工学部機械工学科卒業
- 1971年 上智大学大学院理工学研究科博士課程修了
- 1971年 足利工業大学工学部機械工学科専任講師
- 1974年 足利工業大学工学部機械工学科助教授
- 1985年 足利工業大学工学部機械工学科教授
- 2006年～ 足利工業大学副学長



照明デザイナー

株式会社 ライティング プランナーズ アソシエーツ 代表取締役

武蔵野美術大学教授

面出 薫 氏 (めん で かおる)

(プロフィール)

- 1977年 東京芸術大学大学院美術研究科修士課程修了
- 住宅照明から建築照明、都市・環境照明の分野まで幅広い照明デザインのプロデューサー、プランナーとして活躍するかたわら、市民参加の照明文化研究会「照明探偵団」を組織し、団長として精力的に活動を展開中。
- 東京国際フォーラム、JR 京都駅、せんだいメディアテーク、六本木ヒルズ、中国中央テレビ台、などの照明計画を担当。



国土交通省中国地方整備局長

甲村 謙友 氏 (こうむら けんゆう)

(プロフィール)

- 1974年 3月 東京大学工学部土木工学科卒業
- 1974年 4月 建設省(現国土交通省)入省
- 2003年 7月 土地・水資源局水資源部長
- 2004年 7月 環境省環境管理局水環境部長
- 2005年 8月 中国地方整備局長



前田道路株式会社 取締役常務執行役員

高橋 宏二 氏 (たかはし こうじ)

(プロフィール)

- 1969年 4月、前田道路株式会社に入社し、以来約 40 年道づくりの会社で管理一筋に歩いて参りました。技術的なことは余り解りませんが、環境には人一倍関心を持っており、昨年自宅のある横浜から遠く離れた宮崎県で、緑資源保護に参加しました。

## 空間デザインコンペティション



建築家 神戸大学大学院建築学専攻教授

アメリカ建築家協会名誉フェロー

重村 力 氏 (しげむら つとむ)

(プロフィール)

1969年 早稲田大学理工学部建築学科卒業

1970年 象設計集団設立

1974年 早稲田大学大学院博士課程修了

1978年～ 神戸大学工学部講師

1996年～ 神戸大学大学院教授

2003年～2005年 日本建築学会副会長



日本政策投資銀行 地域振興部 参事役

特定非営利活動法人 (NPO) ComPus 地域経営支援ネットワーク 理事長

藻谷 浩介 氏 (もたに こうすけ)

(プロフィール)

1988年 東京大学 法学部私法コース卒業

1994年 米国 NY 市 コロンビア大学経営大学院  
(ビジネススクール) 卒業 (MBA)

1988年 日本開発銀行 (現日本政策投資銀行) 入行

2007年 日本政策投資銀行 地域振興部 参事役



山口県土木建築部建築指導課企画監

清水 正則 氏 (しみず まさのり)

(プロフィール)

1969年 山口県立徳山高等学校卒業

1973年 広島大学工学部建築学科卒業

1973年～ 山口県技術吏員

2007年～ 山口県土木建築部建築指導課企画監

## ものづくりコンペティション



現 職 山口大学大学院理工学研究科 教授  
情報・デザイン工学系 建設デザイン工学分野  
専 攻 建築設計, 建築計画, まちづくり計画, 都市デザイン  
内田 文雄 氏 (うちだ ふみお)

(プロフィール)

1975年 広島大学工学部建築学科 卒業  
1977年 早稲田大学大学院理工学研究科 修士課程 修了  
1977年 株式会社 象設計集団 入所  
1988年 株式会社 龍環境計画, 設立 代表取締役  
1997年 早稲田大学理工学部建築学科 講師 (2000年まで)  
2000年 山口大学工学部教授就任  
2001年 国土交通省 地域振興アドバイザー (現在に至る)  
2006年 山口県景観アドバイザー



現 職 周南市徳山動物園長  
山本 貴隆 氏 (やまもと きよたか)

(プロフィール)

1977年 明治大学経営学部経営学科卒業  
1978年 徳山市役所 (現在の周南市役所) 入所  
2007年 徳山動物園長

(役職) 日本伝統建築技術保存会会員, 日本伝統木構造会会員,  
岩国の文化を育てる会理事



海老崎 条次 氏 (えびざき くめつぐ)

(プロフィール)

1969年 (昭和 44 年) 近畿大学理工学部建築科卒業  
1999年 (平成 11 年) 岩国伝統建築協同組合を設立し, 同組合長に就任  
2001年 (平成 13 年) 錦帯橋架橋工事の本橋部分の総責任者  
(大工棟梁) に従事, 完成時まで従事する  
2005年 (平成 17 年) 現代の名工に選ばれる  
2007年 (平成 19 年) 黄綬褒章を授賞  
NHK 人間ドキュメント「課外授業 ようこそ先輩」などに出演

# イベントスケジュール

## 11月16日(金)

時間	構造デザイン コンペティション	環境デザイン コンペティション	空間デザイン コンペティション	ものづくり コンペティション	時間	備考
8:00					8:00	
8:30					8:30	
9:00				受付(ロビー)	9:00	
9:30				オリエンテーション	9:30	
10:00				競技開始 (北広場)	10:00	
10:30					10:30	
11:00					11:00	
11:30					11:30	
12:00					12:00	
12:30					12:30	
13:00					13:00	
13:30	受付(ロビー) 仕様確認				13:30	総合受付 (ロビー)
14:00	(メインアリーナ北)	受付(ロビー)	受付(ロビー)		14:00	
14:30					14:30	
15:00				15:00		
15:30	オリエンテーション (メインアリーナ南)	オリエンテーション (多目的ホール東)	オリエンテーション (カルチャールーム)		15:30	実行委員会
16:00					16:00	
16:30	開会式(メインアリーナ南)				16:30	
17:00	特別講演(面出 薫氏) (メインアリーナ南)				17:00	
17:30					17:30	
18:00	ウェルカムイベント(多目的ホール西)				18:00	
18:30					18:30	
19:00					19:00	
19:30	オリエンテーション 予備			競技	19:30	
20:00					20:00	
20:30					20:30	
21:00					21:00	
21:30					21:30	
22:00					22:00	
22:30					22:30	

## 11月17日(土)

時間	構造デザイン コンペティション	環境デザイン コンペティション	空間デザイン コンペティション	ものづくり コンペティション	時間	備考
8:00					8:00	
8:30	会場集合				8:30	
9:00	特別講演(牛山 泉氏:多目的ホール東/重村 力氏:メインアリーナ南)				9:00	
9:30					9:30	
10:00	競技1 ステンレスブリッジ (メインアリーナ南)	プレゼンテーション (多目的ホール東)	プレゼンテーション (カルチャールーム)	競技 (適宜昼食)	10:00	
10:30					10:30	
11:00					11:00	
11:30					11:30	
12:00					12:00	
12:30	昼食				12:30	
13:00					13:00	フグ鍋(お楽しみに)
13:30	競技2 バスタブリッジ (メインアリーナ南)	ポスターセッション (メインアリーナ北)	ポスターセッション (メインアリーナ北)	プレゼンテーション (北広場)	13:30	
14:00					14:00	
14:30					14:30	
15:00	イベント(メインアリーナ南・回天太鼓)				15:00	
15:30					15:30	
16:00	閉会式/表彰式(メインアリーナ南)				16:00	
16:30					16:30	
17:00	参加者解散(会場片付け)				17:00	
17:30					17:30	
18:00					18:00	情報交換会

## 11月18日(日)

ポストイベント: 徳山動物園、徳山駅ビル2階(市民交流センター) 作品展示

## 共 通 行 事

### ●開会式（11月16日（金）16：30～17：00 周南市総合スポーツセンター）

1. 開式の辞 デザコン開催地委員会実行委員長 田村 隆弘（徳山高専教授）
2. 主催者挨拶 高等専門学校連合会会長 長谷川 淳（函館高専校長）
3. 来賓挨拶 国立高等専門学校理事長 河野 伊一郎  
周南市長 島津 幸男
4. 参加学生代表挨拶 高松高専建設環境工学科4年 森谷 謙一
5. 委員紹介 全国高専デザコン実行委員会委員  
デザコン開催地委員会委員
6. 閉式の辞 デザコン開催地委員会実行委員長 田村 隆弘（徳山高専教授）

### ●講演会（11月16日（金）17：00～18：00 周南市総合スポーツセンター）

- 講 師：ライティングプランナーズアソシエーツ代表取締役 面出 薫（武蔵野美術大学教授）  
演題『光の環境デザイン』

### ●ウェルカムパーティー（11月16日（金）18：00～19：15 周南市総合スポーツセンター）

1. 歓迎の言葉 全国高専デザコン実行委員会委員長 平野 千博（徳山高専校長）
2. 乾杯 デザコン開催地委員会 橋本 堅一（徳山高専教授）
3. 主管校学生代表挨拶 徳山高専土木建築工学科4年 田中 美里
4. 終了の言葉 デザコン開催地委員会 橋本 堅一（徳山高専教授）

### ●講演会（11月17日（土）9：00～10：00 周南市総合スポーツセンター）

- 講 師： 足利工業大学副学長 牛山 泉  
演題『環境問題と自然エネルギー利用』  
講 師： 神戸大学大学院建築学専攻教授 重村 力  
演題『都市の環境再生と建築デザイン』

### ●閉会式（11月17日（土）16：00～17：00 周南市総合スポーツセンター）

1. 開式の辞 デザコン開催地委員会実行委員長 田村 隆弘（徳山高専教授）
2. 主管校挨拶 全国高専デザコン実行委員会委員長 平野 千博（徳山高専校長）
3. 来賓挨拶 文部科学省高等教育局専門教育課企画官 坂口 昭一郎
4. 成績発表及び表彰
5. 講 評 各部門審査委員長
6. 次年度主管校挨拶 塩谷 幾雄（高松高専校長）
7. 閉式の辞 デザコン開催地委員会実行委員長 田村 隆弘（徳山高専教授）

みなさんは、今回のデザコンのテーマ、「つながり」を聞いて、どのようなことを連想しましたか？

人と人、人と地域、動物、機会、建物、環境、世界、交通・・・たくさんの「つながり」があって私達の生活は成り立っています。

しかし、現代の「つながり」は、果たして、本物でしょうか？

本当につながっているのでしょうか？

昔は、近所の人と家族同然に接し、お互いに助け合っていました。友達同士や家族間の連絡手段も、電話や心のこもった手紙が主で、相手に気持ちがしっかりと伝わり、確かな「つながり」を実感していました。

では、今の生活環境はどうでしょう。

あなたは近所の人顔を知っていますか？仲良くしていますか？

自分の思いを相手に伝えられますか？

地域の人たちとふれあっていますか？

インターネットで顔も知らない人とばかり仲良くなっていますか？

私は、幼なじみの親友や、小学校でお世話になった先生と、年に一度ですが、心をこめて書いた手紙で連絡をとっています。これは、私にとっての大切な「つながり」の一つです。みなさんは、どのような「つながり」を、周囲の人たちや社会と持っていますか？

希薄になってきたと言われる「つながり」を、このデザコンという会場で、今一度見直しましょう。

4部門に分かれて、それぞれの「つながり」のアイデアを、発表しあいましょう。

構造部門では、技術と創造性で、物と物、夢と夢、人と人を「つなぐ」、ブリッジを・・・

環境部門では、みちを使う人々を「つなぐ」、アイデアを・・・

空間部門では、とぎれたまちに、新たな人の「つながり」を・・・

そして、ものづくり部門では、人と、動物の「つながり」が見える、動物園ファニチャーを・・・

さまざまなアイデアを見て吸収し、そして、全国の高専生と交流し、将来の自分自身のために、「つながり」を広げていきましょう。

さあ、「デザコン2007 in 周南」のはじまりです！！

## 特別講演要旨



特別講演（総合スポーツセンター メインアリーナ南） 2007.11.16  
テーマ：『光の環境デザイン』

株式会社 Lighting Planners Associates 代表取締役  
武蔵野美術大学教授 面出 薫先生

講師の面出薫先生は、現在、(株)ライティングプランナーズアソシエーツ代表取締役でいらっしゃると同時に、武蔵野美術大学教授でもいらっしゃる。日頃は、建築照明デザイナー、都市環境照明でデザイナーとしてご活躍されると同時に、学生指導もなさっている。講演は、デザインとは何か、ということから始まった。

また、「照明デザイナーとは、ハイテクなイメージがあるように思われていると思うが、そうではなく、火、自然光を大切にしている。」という言葉は印象深かった。

続いて、松下電器産業情報通信システムセンター（1992年）のプロジェクト、東京国際フォーラムの照明プロジェクト（1996年）等につき、LEDを用いたプロジェクトが次々に紹介された。播磨科学公園都市（1992年）、臨海副都心のシンボルプロムナード（1996年）、なら100年会館（1999年）、西宮のアンリ・シャルパンティエのクリスマス・イルミネーション（2002～2004）、六本木ヒルズ（2003）、ソウルのWホテル（2004）、バンコクの高級住宅（プライベート・アパートメント・スクンビット53、2005）、シンガポールシティセントラライティングマスタープラン（2006）、そして、表参道 akarium（2006）。どのプロジェクトにも様々な暖かなメッセージが込められているように感じられた。

先生によれば、20世紀にはそれまでとは桁違いに沢山の光の光が溢れ、私たちは人体実験をされているようなものなのだという。私たち自身が、普段、光の過食症にかかって肥大しているという自覚を持ち、もう一回江戸時代ぐらいまで戻って、自然光や、または、火との付き合いをもう一回取り戻さなければ健全な新しいLEDの未来というのは簡単には来ないのではないかと締めくくられた。現在求められる省エネと、本来、私たちにとって心地良いはずの照明の在り方は共存出来るはずのものであるのだろう。まずは、余計な照明を一つ消してみよう。先生も推測を続けていらっしゃる、2050年の照明について思いを巡らせながら。



特別講演（総合スポーツセンター 多目的ホール） 2007.11.17  
テーマ：環境問題と自然エネルギー利用

足利工大副学長 牛山 泉先生

環境部門審査委員長の牛山先生は、現在、日本太陽エネルギー学会会長であり、国内外の風力エネルギー利用分野の大御所であるが、学会分野以外でも、例えば、NHKのプロジェクトXをはじめ、TV番組などを通して、環境エネルギー問題の啓発に努めておられ、これまでに多数の著作や受賞経歴がある。元来、環境論者ではなくエネルギー論者である。

しかし、どちらもバランス良く発展する必要があり、この2つに加えて、もうひとつのE、すなわち経済発展も含めて、トリレンマ (trilemma, 3つのEの3重苦) 状態について警鐘しておられる。

講演は、まず、「なぜ自然エネルギーか」という問いかけから始まり、現在、地球が抱えている5大問題、すなわち、人口、食料、環境、資源、エネルギー問題から、その重要性を訴えられた。中でも、最近の米国ハリケーンの被害や地球温暖化の具体例を示し、日々、中近東からスーパertankerで運ばれてくる原油に100%依存している、日本のエネルギー政策の危ない実態について、統計数字をわかりやすく解説された。折しも自衛隊海外給油活動の是非が議論されている真っ只中であって、戦争というよりも、むしろ自給率の低さからくる、本当にもろい安全保障の実態を浮き彫りにされた。

続いて、世界における風力や太陽光などの利用実績、バイオマスや地熱、海洋などの新エネルギー、さらには未来のアイデアなどについても高専生に対してわかりやすく解説された。最後に自身の大学における再生可能エネルギー実験施設の紹介をされ、ソフトな口調ながらも次世代の若者に対して、地球持続のための力強いメッセージを寄せられ、聴衆一同、これからの環境対策の重要性を再認識した。

特別講演 (総合スポーツセンター 多目的ホール) 2007.11.17

## テーマ：建築デザインと都市の環境再生

神戸大学教授 重村 力先生

「建築デザインと都市の環境再生」と題して、都市の環境再生を建築デザインで実現した先生の作品の中から代表的なものを紹介していただいた約50分間の公演でした。

「うだつのある歴史的街区における農業倉庫のリノベーション」がテーマである協町立図書館(第12回吉田五十八賞：1987年)では、伝統的な「うだつ」のデザインを生かして老朽化した農業倉庫を地域の図書館へと再生させた設計の経緯をわかりやすく解説していただきました。さらに「学校は町、校舎は家、自然と融合した学び舎」である出石町立弘道小学校(第6回アジア建築家会議金賞：1993年)では、自然の地形を生かすことで、素晴らしい教育環境を実現した計画手法を説明していただきました。地域の住生活とデザインを計画に取り込んだ公営住宅である城崎町管内島団地(城崎町第1回きのさき景観賞：1996年)も、今後の公的賃貸住宅の計画に対する示唆に富んだものでした。



## 1. 経緯

構造コンペティションではステンレスブリッジとパスタブリッジの耐力試験を行い、耐荷性能、創造性、デザイン性をもとに審査を行いました。ステンレスは周南地域の主要生産材であるステンレスの薄板を利用した「けた」の耐力試験を行いました。また、パスタブリッジは、市販のスパゲッティを組み合わせて作製した、「けた」の耐力試験を行いました。ステンレスブリッジ、パスタブリッジにはそれぞれ、全国の高専から26チームおよび29チームが参加し競技を行いました。審査委員長は長岡技術科学大学長井正嗣教授、審査員は加藤史郎豊橋技術科学大学教授、若築建設株式会社取締役渡邊陽二郎氏、特別ゲストはパスタブリッジ発祥の地のオーストラリア・グリフィス大学 Doh 講師が努めました。



Doh 講師、渡邊氏、加藤教授、長井教授

審査委員長は長岡技術科学大学長井正嗣教授、審査員は加藤史郎豊橋技術科学大学教授、若築建設株式会社取締役渡邊陽二郎氏、特別ゲストはパスタブリッジ発祥の地のオーストラリア・グリフィス大学 Doh 講師が努めました。

### (1) ステンレスブリッジ競技

ステンレスブリッジは、0.1mmのステンレス板（SUS304）を溶接等は一切用いずに、M3のボルト・ナットのみで接合し、橋長96cm、高さ20cm、幅10cm以内の大きさのものを400g以内で作成するものとししました。これをスパン90cmの単純形式、載荷点間隔30cmの4点曲げとししました。載荷は容量2000Nの小型の万能試験機で30mm/secの変位制御で鉛直下向きに行いました。破壊は、最大耐力点の荷重、または最大たわみ50mmとなった時点の荷重で定義しました。



ステンレスブリッジの破壊状況

ステンレスブリッジでは圧縮域でいかに局部座屈（破壊）を防ぎ、また、いかに面外座屈を防ぐかがポイントでした。各校はデザインの優美さを考慮してこれらの破壊形式を防ぐ構造形式を提案しました。25チームで競いあった結果、最大耐力829Nで松江高専が優勝しました。

### (2) パスタブリッジ競技

パスタブリッジは市販の直径1.8mmのパスタ（スパゲッティ）をホットボンドで組み立てて、質量100g以内、長さ64.8cm、高さ10.8cm、幅8cmの単純形式の桁を作成します。載荷試験では、この桁に900gのアルミ床板を載せ、900gの車両に錘を積載させて、斜面の自由落下を利用して床板上を通過させます。そして、錘を徐々に増加し、その最大耐力を競うものでした。パスタブリッジにおいてもたわみ制限を25mmとししました。



パスタブリッジを走行する車両

パスタブリッジでは、脆性材料（壊れやすい材料）に衝撃が加わる厳しい条件のもとで28チームの参加校で競い、載荷質量4875gの米子高専が優勝しました。

### (3) 総合成績

ステンレスブリッジ、パスタブリッジの強度を中心に、デザイン性、創造性などを考慮して入賞者が決定されました。

総合成績第1位の米子高専に文部科学大臣賞（最優秀賞）が授与されました。また、総合成績2位、3位の松江高専と和歌山高専にそれぞれ優秀賞が授与されました。さらに、構造的に優れた構造賞に松江高専、創造性、デザイン性に優れたデザイン賞には釧路高専、審査員特別賞の Gold Coast Prize には米子高専が選ばれました。

全国高専の精鋭がブリッジの強度を競い、また、友好を深め、次回高松高専での再会を誓いあいました。



大会を支えた学生スタッフ



観戦風景



作品展示風景

## 2. 講評

**[審査委員長 長岡技術科学大学 環境・建設系教授 長井 正嗣]**

昨年度に引き続き審査員を務めました。昨年度がはじめての参加でしたが、見事な作品が多く、高専生のレベルの高さに感心した記憶があります。今年度、審査委員長という大役を仰せつかり、審査には一層緊張しました。昨年度、3審査委員は、強度評価とは別に、それぞれ着目点、着眼点を分担して採点しました。今回は、3審査員が全体（創造性、デザイン性、アイデア性、完成度の4項目が具体的評価事項）をみて審査することになりました。

今回、ステンレスブリッジとパスタブリッジがあり、両者の強度に関する得点と上記の評価項目の合計得点でコンペが行われました。強度についてはかなり差異が生じることになりましたが、昨年のような異様な差異が生じることはありませんでした。今年度は、それぞれ橋の構造体に直接荷重を作用させたためです。個人的には、車が通行するパスタブリッジの競技を楽しませて頂きました。

強度以外の審査項目の評価には大きな差異が付きませんでした。全体的に高得点で、48点以上（60点満点）の橋はパスタブリッジで17橋、ステンレスブリッジで9橋でした。見栄えの面から、パスタブリッジの方が相対的に高得点となりました。また、審査員特別賞（デザイン賞）は、審査員の評価点が最高得点の橋に与えられました。特別賞のうち、構造賞、Gold Coast Prize は強度が高いという点が評価されました。

総合評価にあたり、ステンレスブリッジ、パスタブリッジともに高得点というチームはなく、どちらかのタイプが高得点での競争となりました。審査員の持ち点が多すぎるというクレームもあったように聞いていますが、先に説明したように、上位グループの審査員評価点に大きな差異が生じなかったこともあり、結果的には高い強度を発揮した作品が栄冠を獲得することになりました。

## 【審査委員 豊橋技術科学大学 建設工学系教授 加藤 史郎】

ヨルグ・シュライヒ、川口 衛、カラトラバという名前を、皆さんも知っておられることと思います。彼らは、土木・建築の構造設計で現在も大いに活躍しているので、これら構造設計者の担当した大スパン構造（空間構造）や橋梁を実際にあるいは写真やテレビなどで見ているかと思います。

シュライヒは、フライオットーとともにミュンヘンオリンピックの主会場の膜屋根（張力構造）の設計でよく知られて、最近ではミヨー（フランス南部）の橋も担当している。川口は、坪井善勝とともに東京オリンピックの屋内水泳競技場（鋼の張力構造）の設計、最近では、バルセロナオリンピック屋内競技場（パンタドーム）やイコノスの橋の設計を担当している。カラトラバは、魚骨を彷彿させる橋梁や大スパン構造で近年大いに売り出し中の気鋭である。現代の主要な構造材料（鋼、鋼ケーブル、コンクリート、ガラス）を三者3様に用いて特徴的な構造を実現している。

ぜひ、みなさんも、興味が湧いたら実物を見て自分の手でスケッチしてみてください。実物から学ぶことは実に多い。ある程度以上の規模になると、自重を適切に支点到に流す構造形態を採用しなければ、安全性の高い経済的な構造は実現できない。一般には、部材に出来るだけ曲げモーメントが発生させないで、つまり、軸力により荷重（自重、地震荷重、風荷重、積載荷重など）に効率的に抵抗し、しかも構造重量ができるだけ少ない形態が採用される。このような軸力で抵抗できる軽い構造では、部材の座屈を避け、軽くて強度の高い構造にするとさらに靱性のある構造として実現できる。

今回のステンレス・ブリッジと pasta・ブリッジは、単位質量と強度が大きく違うものの、よく似た特性の材料である。ステンレスは薄いので板座屈、pastaは細いので部材座屈が大きな課題となる。したがって、接合強度を確保しつつ座屈の防止できる構造が設計の焦点になる。コンペでは、単純支持で、荷重載荷位置、スパンが定められており、構造デプス、構造幅の制限の下に、耐力を競うことになった。ただし、pasta・ブリッジは、荷重の移動に伴う振動が生ずるので、この振動を避けるような形態、支持点や上載面との接触の処理も課題となる。

ステンレス・ブリッジについては、昨年までの経験を生かした作品が多いように感じられたが、金属製品であるため加工度に難があるものが散見された。その中で、機械工学関連の学生が参加していると思われる高専の作品には加工精度の高いものが見られ、建築・土木・機械の分野が共同した高専が優れた作品を提案していた。特に印象に残った作品として、下路式のアーチ橋で、鋼管状に曲げ加工した上弦材（部材の座屈強度を高めるとともに、板座屈を防止）、ユニット化した接合部（製品精度・信頼性と工場生産性の向上）、同一ビスによる接合方式（信頼性と生産性の向上）を提案していたものである。また、構造全体の特性を向上させる形態として、ボックス状あるいは鋼管状の構造が提案されており、学生の工夫が見えて楽しい作品が多かった。ボックス状の構造は、殆どが板座屈で耐力が決まっていたようである。もし、溶接（ハンダ）による接合が可能であれば、さらに精密な板座屈防止型の橋梁が提案されたに違いない。

pasta・ブリッジに関しては、殆どがトラスかアーチ（タイバー付）であり、デプスを大きく取り、数本のpastaを束ねて部材として座屈耐力の向上を目指したものが多かった。部材の座屈あるいは接合部破断で決まるものが大方であったが、形状については繊細な感じのものが意匠的に優れたものが見られた。実際に荷重がかけられるまで、耐力に関しては予想ができなかったが、意外に耐力の大きなものがあり、審査員としても大いに興味をそそられた。

審査は実験で定まる60点、各審査員20点の持点で行ったが、当該審査員は、つぎのような視点で評価した。ステンレス・ブリッジは実現可能性、形状・形態、工場製作性の良さ（を想定させるような加工法）、pasta・ブリッジは形態から想定される力学性能を基本にした。多くの作品を拝見して、「頼もしい技術者が育っている、現場での活躍が大いに楽しみである」が、今回の参加の結論です。採点結果にとらわれることなく、高専生の皆様が将来を見据えて活躍されるのを期待します。

## 【審査委員 若築建設株式会社取締役執行役員土木事業部担当 渡邊 陽二郎】

本コンペに初めての参加で、大変印象に残る経験となりました。

ステンレスブリッジは、 $t=0.1\text{mm}$  ステンレス板とビスのみという制約にも係わらず、すっきりと整った構造がつくられていました。特に円筒形部材の加工などは難しかったのではないのでしょうか。加工技術の高さと熱意に感心させられました。

pastaブリッジは、見た目が美しい作品が多く、壊すのを勿体なく感じました。また、見た目と強度、遊び心と技術のバランスをどのように折り合いを付けるかも、興味深い点です。

審査員として、強度の他にも美しさや構造上の工夫などを評価しようと努力をしてみました。結果として、強度が上位にある作品を選んでいました。強度と美しさがマッチした機能美があるのか、それとも・・・それから、オープニングのメッセージも印象的でした。「ものをつくる、チームで協力する、新しい挑戦を続ける」ことで、益々発展されんことを期待します。

### 3. 総合成績

学校名	ステンレス	学科	バスタ	学科	総合順位	備考
米子高専	オリガネ	建築学科	米子ブリッジ	建築学科	1	最優秀賞(文部科学大臣賞)
松江高専	スサノオ	生産・建設システム工学専攻	ブリッジ・ヘキサゴン!!	環境・建設	2	優秀賞
和歌山高専	ステンレスモンスター	環境都市工学科	バスタモンスター	環境都市工学科	3	優秀賞
新居浜高専	Marvel of Art II	機械工学科	国領橋	機械工学科	4	
神戸市立高専	やっぱりアーチ	都市工学科	やっぱりトラス	都市工学	5	
宮城高専	麻疹?	建築学科	Trapezium Bridge -栄光を目指して-	建築学科	6	
阿南高専	Lizard's tail	建設システム工学科	クロス × クロス	建設システム工学科	7	
高松高専	つまぶきIV号	建設環境工学科	じゃんならん	建設環境工学科	8	
明石高専	明石高専大橋	建築・都市システム工学専攻	クレグラーチ	建築学科	9	
長岡高専	宇寿屋	環境都市工学科	久保田	環境都市工学科	10	
八戸高専	荷重100%	建設環境工学科	アルデンティノ	建設環境工学科	11	
福島高専	AQUA BY-PASS	建設環境工学科	Double Warren Truss	建設環境工学科	12	
豊田高専	おいでん橋	建築学科	ブリゲッティ	環境都市工学科	13	
石川高専	加賀百万石巻き	石川高専	石垣	建築学科	14	
小山高専	ザ肉GYOUZA	建築学科	べべろんちの	建築学科	15	
釧路高専	Bridge Of Cranes	建築学科	トルデラート	建築学科	16	
福井高専	お`い橋	環境都市工学科	OVER THE RAINBOW	環境都市工学科	17	
徳山高専	ぶっつけ本番!!	土木建築工学科	ピラミッド型トラス橋	土木建築工学科	18	
群馬高専	Dへの挑戦	環境都市工学科	Hiraki	環境都市工学科	19	
岐阜高専	大岩ステンレス	建設工学専攻	サンブリッジ	建設工学専攻	20	
鹿児島高専	ピラミッド橋	土木工学科	Cherry Island	土木工学科	21	
長野高専	未来へ	環境都市工学科	オワテイル橋	環境都市工学科	22	
舞鶴高専	スカイ・ブリッジ	建設システム工学科	キャプテン ぶい	建設システム工学科	23	
近大高専			近大橋	建設システム工学科	24	
秋田高専			VOX!	環境都市工学科	25	
大阪府立高専	ケン bridge	建設工学科			26	
有明高専			K-Bridge	建築学科	27	
久留米高専			華月橋	機械工学科	28	
八代高専	KANAME 橋 Ver.2	土木建築工学科			29	
函館高専			いかおどり橋	環境システム工学専攻	30	
都城高専	骨組みはステンレス	建築学科	僕とバスタと時々、オトン	建築学科	辞退	

### ステンレス成績

学校名	ステンレス	学科	予想荷重(kg)	質量(g)	耐荷重(N)	比耐力(N/g)	耐荷重得点	総合得点	備考
和歌山高専	ステンレスモンスター	環境都市工学科	105.00	298.80	709	2.37	335.91	393.04	
松江高専	スサノオ	生産・建設システム工学専攻	200.00	302.60	829	2.74	392.77	440.06	審査員特別賞(構造賞)
神戸市立高専	やっぱりアーチ	都市工学科	150.00	309.20	810	2.62	383.77	433.01	
新居浜高専	Marvel of Art II	機械工学科	55.00	301.40	470	1.56	222.68	279.42	
宮城高専	麻疹?	建築学科	22.00	304.00	444	1.46	210.36	265.05	
米子高専	オリガネ	建築学科	60.00	308.40	540	1.75	255.84	302.67	
豊田高専	おいでん橋	建築学科	30.00	299.00	434	1.45	205.62	250.31	
福島高専	AQUA BY-PASS	建設環境工学科	30.00	299.60	340	1.13	161.09	211.62	
長岡高専	宇寿屋	環境都市工学科	20.00	309.00	394	1.28	186.67	231.27	
阿南高専	Lizard's tail	建設システム工学科	24.00	279.40	263	0.94	124.61	174.05	
大阪府立高専	ケン bridge	建設工学科	25.00	295.60	277	0.94	131.24	179.68	
八戸高専	荷重100%	建設環境工学科	50.00	295.50	200	0.68	94.76	148.08	
高松高専	つまぶきIV号	建設環境工学科	30.00	304.00	226	0.74	107.08	153.43	
石川高専	加賀百万石巻き	石川高専	40.00	297.60	250	0.84	118.45	160.84	
福井高専	お`い橋	環境都市工学科	10.30	283.60	167	0.59	79.12	125.40	
鹿児島高専	ピラミッド橋	土木工学科	10.00	306.00	173	0.57	81.96	128.23	
小山高専	ザ肉GYOUZA	建築学科	19.80	309.20	169	0.55	80.07	125.33	
長野高専	未来へ	環境都市工学科	15.00	286.00	177	0.62	83.86	125.15	
明石高専	明石高専大橋	建築・都市システム工学専攻	10.00	264.80	75	0.28	35.53	82.67	
徳山高専	ぶっつけ本番!!	土木建築工学科	20.00	308.60	122	0.40	57.80	101.99	
八代高専	KANAME 橋 Ver.2	土木建築工学科	18.50	304.80	24	0.08	11.37	62.41	
岐阜高専	大岩ステンレス	建設工学専攻	31.00	301.20	70	0.23	33.16	76.27	
舞鶴高専	スカイ・ブリッジ	建設システム工学科	1.00	297.40	88	0.30	41.69	82.83	
釧路高専	Bridge Of Cranes	建築学科	75.00	278.60	91	0.33	43.11	82.27	
群馬高専	Dへの挑戦	環境都市工学科	18.00	309.00	60	0.19	28.43	69.52	
都城高専	骨組みはステンレス	建築学科	30.00						辞退

### バスタ成績

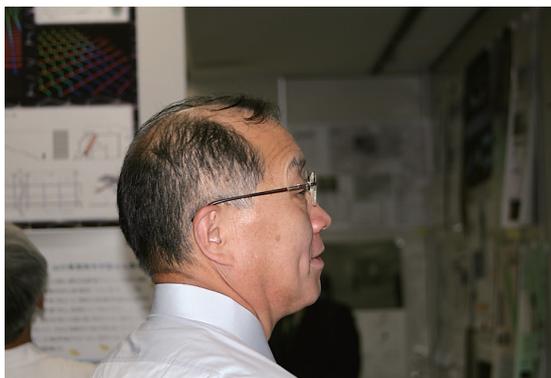
学校名	バスタ	学科	予想荷重(kg)	質量(g)	耐荷重(N)	比耐力(N/g)	耐荷重得点	総合得点	備考
米子高専	米子ブリッジ	建築学科	4.50	96.00	4875.00	60.16	30.00	138.16	審査員特別賞(Gold Coast Prize)
明石高専	クレグラーチ	建築学科	2.00	99.10	3500.00	44.40	21.54	116.94	
阿南高専	クロス × クロス	建設システム工学科	3.80	91.80	3500.00	47.93	21.54	112.47	
新居浜高専	国領橋	機械工学科	4.50	99.40	3250.00	41.75	20.00	108.75	
釧路高専	トルデラート	建築学科	6.00	98.40	2250.00	32.01	13.85	101.86	審査員特別賞(デザイン賞)
高松高専	じゃんならん	建設環境工学科	2.50	99.60	2875.00	37.90	17.69	104.59	
松江高専	ブリッジ・ヘキサゴン!!	環境・建設	3.50	97.30	2250.00	32.37	13.85	97.22	
小山高専	べべろんちの	建築学科	3.50	97.80	2125.00	30.93	13.08	94.01	
石川高専	石垣	建築学科	5.00	92.70	1500.00	25.89	9.23	91.12	
八戸高専	アルデンティノ	建設環境工学科	3.00	89.60	1500.00	26.79	9.23	91.02	
宮城高専	Trapezium Bridge -栄光を目指して-	建築学科	5.00	99.40	2000.00	29.18	12.31	91.48	
近大高専	近大橋	建設システム工学科	10.00	98.60	1750.00	26.88	10.77	89.65	
長岡高専	久保田	環境都市工学科	5.00	97.70	2000.00	29.68	12.31	88.99	
福井高専	OVER THE RAINBOW	環境都市工学科	3.50	80.60	1000.00	23.57	6.15	84.73	
和歌山高専	バスタモンスター	環境都市工学科	2.50	90.00	1750.00	29.44	10.77	87.21	
秋田高専	VOX!	環境都市工学科	2.50	85.50	1125.00	23.68	6.92	82.61	
福島高専	Double Warren Truss	建設環境工学科	2.50	98.90	2500.00	34.38	15.38	87.76	
徳山高専	ピラミッド型トラス橋	土木建築工学科	3.90	99.20	1500.00	24.19	9.23	82.42	
豊田高専	ブリゲッティ	環境都市工学科	3.60	86.30	1000.00	22.02	6.15	80.17	
神戸市立高専	やっぱりトラス	都市工学	2.20	99.80	1250.00	21.54	7.69	75.24	
有明高専	K-Bridge	建築学科	1.60	99.00	1500.00	24.24	9.23	75.47	
群馬高専	Hiraki	環境都市工学科	2.00	95.60	750.00	17.26	4.62	70.87	
岐阜高専	サンブリッジ	建設工学専攻	3.40	98.90	500.00	14.16	3.08	66.23	
久留米高専	華月橋	機械工学科	13.00	99.40	0.00	0.00	0.00	56.00	
長野高専	オワテイル橋	環境都市工学科	1.80	89.60	500.00	15.63	3.08	57.70	
鹿児島高専	Cherry Island	土木工学科	2.50	99.70	0.00	0.00	0.00	47.00	
函館高専	いかおどり橋	環境システム工学専攻	3.00	96.70	0.00	0.00	0.00	46.00	
舞鶴高専	キャプテン ぶい	建設システム工学科	1.00	90.50	0.00	0.00	0.00	41.00	
都城高専	僕とバスタと時々、オトン	建築学科	3.50						辞退

## 1. 経緯

LED はこれまでの電球に比べ、はるかに少ないエネルギーと簡単な制御によってあかりをともし新しい発光技術であり、今後、様々な分野での活用が期待されています。その省エネと鮮やかな発色特性を活かした街づくりの一例として、「みちのあかり」を環境部門の競技テーマに決定しました。従来からのデザコンとは異なり、土木・建築系の学生のみならず、機械・電気・情報・電子系など、異分野の学生混成のコラボレーション参加も期待しました。しかしながら、純粋に技術的な課題解決をターゲットにしたのでは、電気・情報・電子系学生に有利なコンペになってしまい、建築系学生単独での参加を排除することになりかねないと考え、フルカラーLEDの基礎的な点灯ノウハウについては、参加者全員が共有することを基本とし、そのための教材サンプル（制御回路およびソフトウェア）を配布することにしました。

審査委員長は、日本太陽エネルギー学会長で足利工大副学長の牛山 泉先生にお願いしました。日本の風力エネルギー利用分野の大御所であるが、学会以外でもTV番組などを通して、環境エネルギー問題の啓発に努めておられる著名人です。他の審査員は、照明デザイナーで、これまで世界的なプロジェクトに携わってこられたライティングプランナーズアソシエーツ代表取締役（武蔵野美術大学教授）の面出 薫先生、道路行政の視点から、国土交通省中国地方整備局局長の甲村謙友氏、道路施工企業側の立場として、前田道路（株）常務取締役管理本部本部長の高橋宏二氏であり、それぞれ、エコロジー（環境への貢献度）、芸術性、アイデア（未来への提案力）、実現性（製品化の可能性）などの観点から審査されました。

本選においては、広島および東京におけるポスター予選（9月）で選ばれた20作品のプレゼンテーションが、模型展示も含めて行なわれました。その結果、最優秀作として、松江高専生の“世界遺産「石見銀山街道」を照らすLEDラトウ”が国土交通大臣賞を受賞しました。この作品は地元の地域性とその歴史を深く理解した上に、かつての螺旋灯を現代のLEDで甦らせたもので、実物大の坑道模型を持ち込んだ熱意や、和服を身につけての印象深いプレゼンテーションなどが高い評価を受けました。なお、彼らは電気、電子制御、情報系の学生であり、環境部門としての新しい歴史を開いてくれました。



予選審査風景（高橋審査員）



ポスター前でのプレゼンテーション風景  
（面出（左）、牛山（中央）各審査員）

## 2. 入賞作品ポスター

古の灯りて銀山街道を照らす

# LED螺灯

世界遺産  
石見銀山遺跡

六百余りの間歩と呼ばれる坑道が存在

間歩の中

- 崩れかけ、人が容易に入り込めない
- 奥に入るほど、闇が濃くなる

選抜・見復

ロボットによる石見銀山探査

## 螺灯プロジェクト

プロジェクト中のふとした疑問

当時の人々は何を使って間歩の中を照らしていたのだろうか？

# 螺灯

「螺灯」とは！

赤螺の殻に鯨油や菜種油を入れ、灯芯に点火して使用する手持ちランブ

明治28年頃まで照明器具として使用

LED螺灯

現代に螺灯を蘇らせ、間歩を照らしたい

問題

螺灯・・・火を使う↓熱の発生

間歩内の生態系を狂わせる恐れがある

求められる光源

- 螺灯の炎のようなやさしい光
- 熱を発生しにくい光

## LED光源

LEDを用いることで...

- 安全
- やさしい光
- 熱が少ない
- 様々な色の光の螺灯が作れる

特長

- 安全
- 間歩の環境を変えない光源
- 家庭でも照明として使える

揺らぎ

癒し効果

用途

- 当時の間歩の中を再現できる照明
- 銀山街道を照らす光源
- 石見銀山旅行記念のお土産
- 癒し効果のあるインテリア照明

図面

優秀賞

徳山高専, Pole Signal

木村未希, 坂本竜弥, 佐藤雅紀, 西山翔太郎

審査員特別賞 (デザイン賞)

呉高専, ヒロシマの夜に咲くタンポポ

岩田翔士

優秀賞

豊田高専, そふあみれどーろ

中島優, 上田琴恵, 片平直也, 宮戸実, 松枝良樹

審査員特別賞 (アイデア賞)

米子高専, 照ル照ルボード ~ヒト×オート×ヒカリ~

竹谷輝夫, 小椋康司

### 3. 点景



模型搬入、設置



プレゼンテーションに集中する審査員



最優秀賞(国土交通大臣賞)、松江高専、  
世界遺産「石見銀山街道」を照らすLED ライト



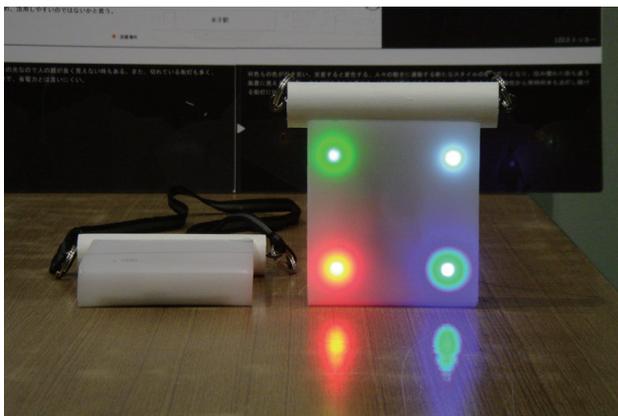
優秀賞、徳山高専、Pole Signal



優秀賞、豊田高専、そふあみれどーろ



審査員特別賞(デザイン賞)、呉高専、ヒロシマの夜に咲くタンポポ



審査員特別賞(アイデア賞)、米子高専、  
照ル照ルボード ～ヒト×オト×ヒカリ～



審査後講評(甲村審査員)

## 4. 講評

**〔審査委員長 足利工業大学副学長 牛山 泉〕**

私は環境デザイン部門の審査委員長を仰せつかりました。東京での予選の時にはポスターのみで、やや表面的な印象でしたが、周南での本番では、限られた時間内でのプレゼンテーションでも、展示会場でのポスターや模型を使った説明においても、各地域からの高専生の熱い意気込み伝わってきました。

最優秀賞を受賞したのは、松江高専の「世界遺産「石見銀山街道」を照らすLED 螺灯」で、自らの地域とその歴史を深く理解した上に、かつて使われていた螺灯を現代のLEDで甦らせたもので、1/f ゆらぎまで考えており、また、実物大の坑道模型を持ち込んだ熱意や、浴衣を着ての熱のこもったプレゼンテーションなどもきわめて印象的でした。

優秀賞の徳山高専の「Pole signal」も地域密着型の発想が生きており、豊田高専の「そふあみれどーろ」には高専生ならではの感性が光っておりました。

審査員特別賞のデザイン部門の呉高専の「ヒロシマの夜に咲くタンポポ」には、平和を希求する強いメッセージも感じられました。アイデア部門の米子高専の「照る照るボード」は大人には思い浮かばないウォークマン感覚のLEDの使い方でした。

これらの受賞作品は、あるいは受賞を逃した作品においても、いずれも従来の固定式の照明の観念にとらわれることなく、柔軟で自由な発想でLEDに適した使い方を考えており、審査をしながら教えられることも多くありました。

なお、このたびのデザコンでは、構造デザインや空間デザインあるいはものづくり、いずれの分野においても米子高専が最優秀賞や特別賞を獲得しているのが目につきました。これにはきわめて熱心な先生が指導に当たっておられるのではないかと推測されます。一人でも熱心な指導者がいれば高専生諸君の内なるものを大きく引き出してあげられるという証拠ではないでしょうか。これはデザコンのみならず全国の高専の先生方に大きな希望と強い刺激を与えてくれたようにおもいます。

**〔審査委員 Lighting Planners Associates 代表取締役、武蔵野美術大学教授 面出 薫〕**

今回の環境デザインコンペでは、多くの参加者がLEDによって革新される「未来の光と人間の新しい関係」について独創的な提案をしてくれました。

デザインとは芸術と科学と社会の接点に存在します。ですからデザコンの評価は技術的な解決と芸術的な表現と来るべき社会に対する夢や提言がなければなりません。その意味で受賞した作品はそれぞれに3要素のバランスの良さがうかがわれます。

中でも私はデザイン賞を受賞した呉高専の「ヒロシマの夜に咲くタンポポ」が好きでした。この作品はヒロシマの夜にLEDのタンポポが増殖していくことで、平和を祈る私たちの心を世界に発信しようというものでした。詩的な美しい作品です。また、最優秀賞を受賞した松江高専の「世界遺産「石見銀山街道」を照らすLED 螺灯」も歴史的な手持ちランプをLEDで革新するというアイデアが素晴らしいのですが、発表プレゼにも好感を持ちました。デザイン提案をどのように伝えるかも重要な評価点なのです。

**【審査委員 国土交通省 中国地方整備局長 甲村謙友】**

「みちのあかり」がテーマということで、通常の道路照明と思って審査員を引き受けてしまいましたが、高専生の発想の豊かさに驚かされました。本選に残った20作品には、通常の道路照明のように固定式で常時上から照らすものではなく、人や車の動きに合わせて点灯し、横から・下から・建物の中から・人が持って等、LEDの特性を活かした作品が選ばれていました。その中から、歴史とのつながりを意識して石見銀山で昔使われていた螺灯を1/f揺らぎを持たせたLEDで蘇らせ、数少ない移動式でもあり、和服でのすばらしいプレゼンテーションと実物大坑道模型まで持ち込んだポスターセッションの熱意から、各審査員一致で松江高専の「世界遺産「石見銀山」を照らすLED螺灯」が最優秀賞に選ばれました。今回初めて国土交通大臣賞を設けさせて頂きましたが、我々のほうが高専生から教えられるものが多かったように思います。高専生の新しい豊かな発想を実際の社会資本整備にも活かしていけたらと感じています。

**【審査委員 前田道路株式会社 取締役 常務執行役員 高橋宏二】**

「全国高等専門学校デザインコンペティション2007 in 周南」の環境部門では、「みち」と「LED」という難しいテーマにもかかわらず、15校から62点の応募がありました。

この62点の中から予備選で20点を選び、本選を行ったわけですが、私にとっては応募作品62点全てについて、担当した学生諸君および指導された先生方の熱意が強く感じられ、いずれも甲乙付けがたく、予備選の段階から非常に苦勞したことを思い出します。本選審査では、提案理由、目的、効果等が模型を使って手際よく説明されたので、ポスターから受けた時とは違ったイメージとなったことから、全62点のプレゼンテーションを聞けば、また異なった結果となったかもしれないと思っています。

最後に、私事により、本選に於いて満足な審査が出来なかったことを、他の審査員の方、徳山高専の先生方にお詫びを申し上げ、講評とさせていただきます。

## 1. 経緯

空間デザイン部門では『新まちなか居住施設—とぎれた「つながり」をとりもどす—』として、徳山駅周辺の空き地や空き店舗などで連続性の途切れた中心市街地に、新たな「まちなか居住」のための施設をデザインすることをテーマにしました。17 高専から 153 作品に及ぶ様々なアイデアが寄せられ、これらの作品を審査していただいたのは、建築家で神戸大学大学院建築学専攻教授の重村力審査員長、山口県土木建築部建築指導課企画監の清水正則審査員、日本政策投資銀行地域企画部参事役の藻谷浩介審査員です。9 月下旬の予選では審査員の先生方には長時間に渡り全作品を詳細に審査していただき、その結果 20 作品が本選に参加しました。

本選では 1 作品 7 分間のプレゼンテーション審査と、ポスターセッション審査が行われました。プレゼンテーションでは 2 つのスクリーンを使い、CCD カメラによる模型のクローズアップなどを駆使した発表が続き、作品の水準の高さに加えて発表のすばらしさが印象的でした。ポスターセッションでは、展示会場のポスターと模型の前に立つ出場者を審査員が巡回し、質疑応答形式で行われました。審査員の先生方は個々の作品に熱心に質問され、作品をさらに良くするためのアドバイスをされるなどの教育的配慮もしていただき、審査時間をもっと取れればさらに良かったと思われます。



予選審査



プレゼンテーション



本選会場の聴衆



ポスターセッション

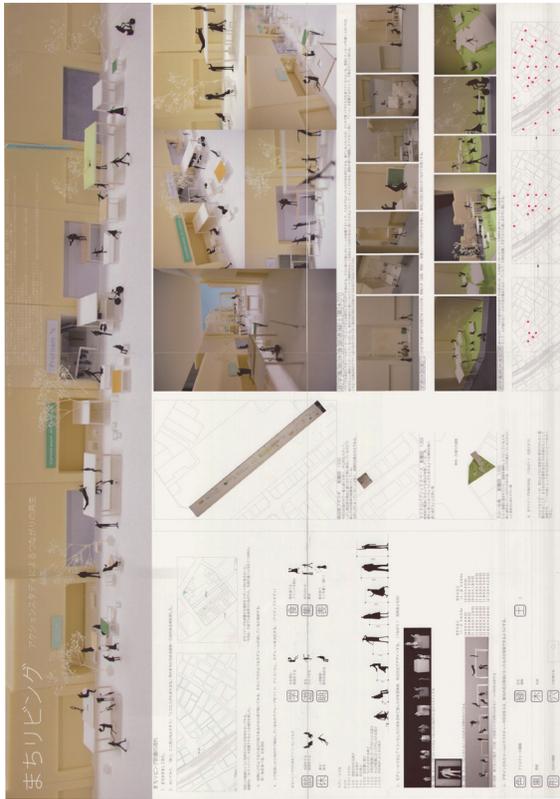


優秀賞（山崎建設賞）

米子高専

まちリビング ～アクションスタディによるつながりの再生～

藤原佑樹, 石村悠造, 嶋田恭平

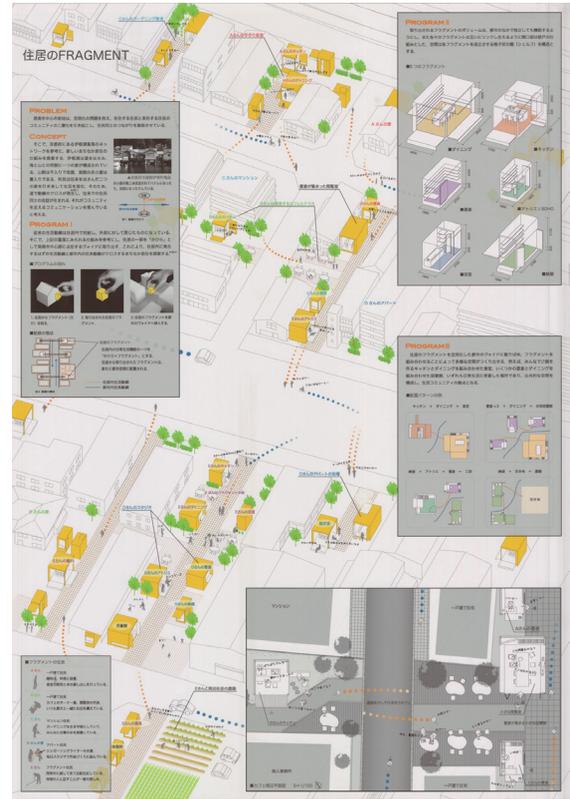


優秀賞

明石高専, 住居のFRAGMENT

木倉康智, 河西孝平, 本庄博希

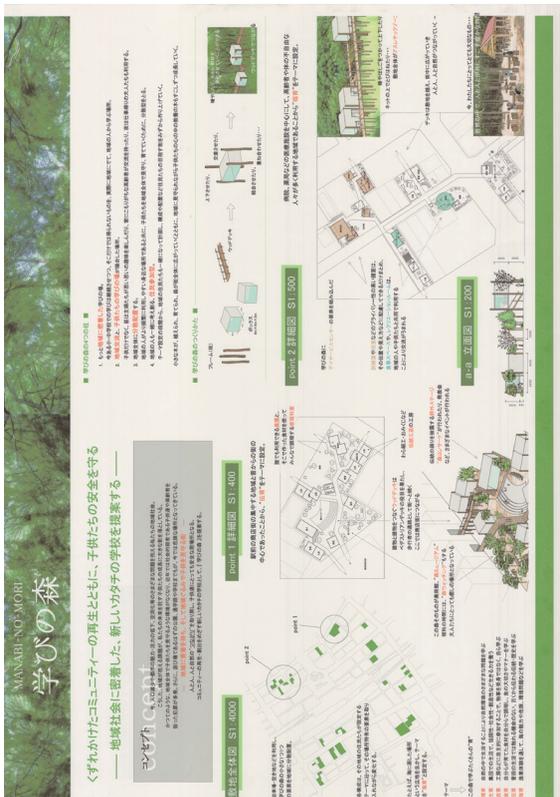
宮本康平, 山崎幸宏



会場審査賞

岐阜高専, 学びの森

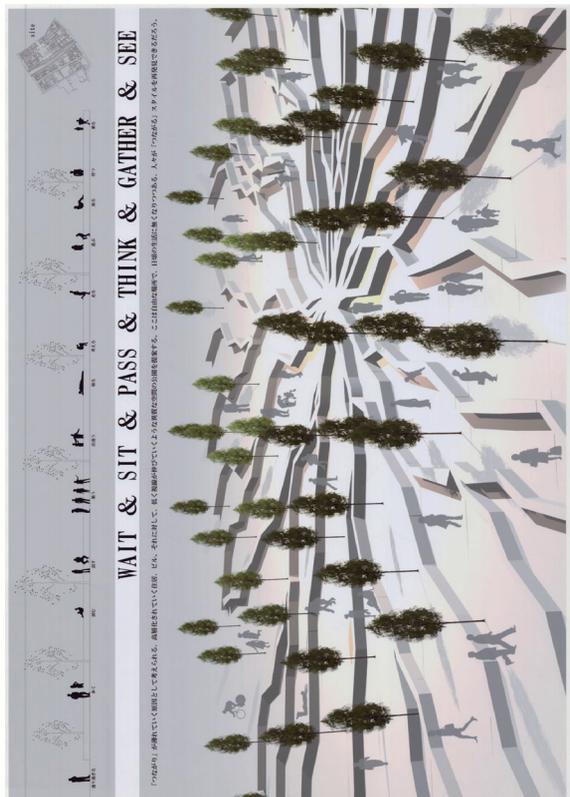
波能麻里



審査員特別賞

小山高専, THE PARK

高田雄一, 由谷昂大



### 3. 点景



模型搬入、設置



最優秀賞（山口県知事賞）、米子高専、もうひとつのまち



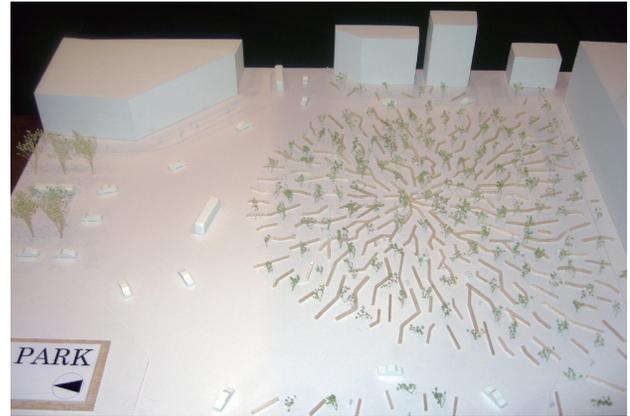
優秀賞（山崎建設賞）、米子高専、  
まちリビング ～アクションスタディによるつながりの再生～



優秀賞、明石高専、住居のFRAGMENT



会場審査賞、岐阜高専、学びの森



審査員特別賞、小山高専、THE PARK



ポスターセッション



審査後講評（清水審査員）

## 4. 講評

〔審査委員長 神戸大学大学院建築学専攻 教授 重村 力〕

応募作品の総体から高専生の夢と努力とデザイン力が伝わってきた。地方都市中心の活性化は学生たちが個々に考えているテーマでもあったのだろう。そこへ自由な自立した批判精神と創造的感性と集中した作業が加わって、まちなかの未来への豊かな提案があらわれた。(最優秀賞)「もうひとつのまち」はあしものすばまった中層の建物からなる商住混合のまちを構想し、地上の道を建物際にまでひろげ、歩行者やゆったりとした交通機関に解放すると共に、不思議なコモンスペースの連なる都市空間を生み出している。今日の商店街のたてものぎわのスペースが貧困であることを批判し、新しいまちの可能性に私たちを目覚めさせる提案である。(優秀賞)「まちリビング～アクションスタディーによるつながりの再生～」はアーケード商店街の空間のまったく新しい可能性を喚起する作品である。従来の商店街ディスプレイとは異なるさまざまな寸法体系をもつストリートファニチャーを考案しこれらを商店街に置くことにより、従前の物販だけではない集客力のある親しみやすい街路空間をつくりだしている。商店主たちとの対話から提案が生まれている。(優秀賞)「住居のフラグメント」はまちなかにある空地や商店街の人々の独特な生活に着目し、住居のさまざまな機能を住居から切り離し、協同のものとしてちりばめることにより、さまざまなアクティビティが生まれることを構想している。併用住宅が密集する中で人々の生活が入り組むかたちをむしろ現代の先進的な協同居住・都市居住文化に発展させようとする考えが伝わってくる。これに類似したアイデアの作品がいくつかあった。(会場審査賞)「学びの森」は商店街の空地に緑をつくる提案の一つだが、この案では適度な高さの空中ボードウォークでこれらをつなぎつつ森や緑を媒介にした社会教育環境教育の基地をつくる提案である。(審査員特別賞)「THE PARK」は他の提案とはまったく異なるランドスケープの提案である。徳山駅前ロータリーを対象にこれを一変する独創的な広場を提案している。求心的でありながら実は四方八方へと抜けてゆく自在に連続し屈曲するベンチの配置とデザインは見事で美しくこのまま実現したいと思うほどの水準である。このコンペでは都市中心部にふさわしい中低層住宅のあり方や鉄道で分断されたまちの連続装置の提案などは期待されながら顕著な提案作品に至らなかったが、ここに紹介したものを超えて多くのまちなかへの夢が描かれたことは大変有意義であった。

【審査員 山口県土木建築部建築指導課企画監 清水正則】

公的空間と私的空間が明確に区分されてしまった都市において、希薄となってしまった「人と人のつながり」は、どうすれば回復できるのでしょうか？建築を職業として意識している若い人たちが、「つながり」をどのように捉えているのか非常に興味がありました。

応募作品すべてに、「どうにかしてつながりを取り戻さなければ」という強い思いが感じられ、新鮮なアイデアや個性の感じられる作品も数多くあり、とても頼もしく感じました。

集まる、すれ違う、共同作業を行う空間の提案

四次元的にも共有出来る空間の提案

私的空間と公的空間との狭間に半公的空間を創造する提案

機能の一部をまちなかに分散させ空間を再編成する提案

デザインや表現の成熟度は、卵の状態のものからまさに大空に飛び立ちそうなものまで差はありますが、これから大事に育てて行って欲しいと思います。「つながりを回復してくれる空間」は、提案する側に「おしつけとおごり」があっては産まれないことを、意識の隅に置きながら……。

審査とは関係ありませんが、イベントの進行に携わった学生さん達の、作り物でない暖かい笑顔での対応がまさに、大会テーマである「つながり」の実践であると感じ、とても嬉しく思いました。



ポスターセッション会場



河野高専機構理事長もセッションに登場



一般の方も参加



空間デザインコンペティション受付スタッフ

## 1. 経緯

ものづくり部門のテーマは、間伐材を使って、「周南市徳山動物園内に、『ひと』と動物の『つながり』が見える動物園ファニチャーを提案・製作する」ことでした。周南市では、毎年11月18日の「土木の日」に、徳山動物園の動物の遊び場をつくる「土木の日コンテスト」が行われ定着しています。今回のテーマは、動物の居住空間ではなく、人が活動・休息するスペースに製作するという点、そして「デザコン」の名にふさわしくデザイン性を重視するという点に大きな特徴がありました。

審査員は、今回のテーマに最適な方々にお願いしました。まず、木構造の専門家として、錦帯橋の架け替え工事の棟梁を務められた海老崎彗次氏、動物園の立場から構造物の安全性や使い心地を判断していただく徳山動物園の園長の山本貴隆氏、そして審査委員長には、建築・都市デザインの専門家山口大学工学部教授の内田文雄先生にお願いしました。

9月24日には、徳山高専で予選の審査が行われました。エントリーした90チームのポスターを3名の審査委員に審査していただき、ここで15チームが本選に進むことが決まりました。木材を使用して構造物をつくる場合の最大の問題は、各部材がぶつかる接合部をどのように設計し構造物としての完成度やデザイン性を高めるかということです。予選を通過した各チームの作品は、この接合部の設計に工夫をこらしただけでなく、デザイン性も十分に考慮したものでした。

ものづくり部門の競技は、他部門に先立って、デザコン初日の16日10時から開始されました。およそ12時間の制限時間内に作品を完成させなければなりません。会場はスポーツセンター裏の特設の「テント村」で、インパクトドライバーやハンマーといった「小物」だけでなく、ボール盤やチップソー、自作の道具など、多くの作業器具が持ち込まれました。



予選審査風景

できあがった作品はスポーツセンター横のスペースに1列に並べ、各チームが限られたプレゼンテーションの時間を使って審査員にアピールしました。最終審査は難航しましたが、結局米子高専の作品「play\*search」が最優秀賞を獲得しました。



競技会場風景



作品の前で審査員にアピール

## 2. 入賞作品ポスター

最優秀賞（周南市長賞）

米子高専, play\*search, 山崎 恵, 高橋和歌子, 宮本侑季, 潮 宏美, 児島かおり, 生田朗子

# Play \* Search



## CONCEPT

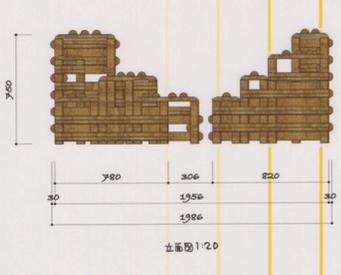
昨今、世間では給傷事件が多発しており、その犯人が未成年だったという事件が目立ってきている。それは、子供たちが「生命」というものを軽視し、ゲームのようにリセットが出来ず、自分を支え付けば...などという思いを排っているからではないだろうか。そこで、私たちは、子供たちに「生命」の大切さを教えるためのファンキラーを提案する。そのために私たちは、

「生命」は「リセット」出来ないものではないということ、失っていいという「生命」はないということ、  
「融かす」見よおけては分からない動物の鼓動呼吸の大きさなどを「感じとり」、「生命」について考えて欲しい。  
動物園内で「接触」する動物ということから、「ウサギ」を選出。  
「コミュニケーション」ファンキラーを介して、ウサギと、他人と、さまざまなコミュニケーションを融かすもの。ウサギの行動「習性」を考慮したデザイン。

の3つのキーワードを考えた。ニムスで組み合わせたのが、私たちが提案するファンキラー。ウサギの、穴の中でいる、隠れが出来る、などの習性からヒントを得て、ファンキラーもウサギの穴とした。ファンキラーには、隠れが出来るようになり、子供たちがウサギを探る行動を促す。穴は、子供たちがウサギを探る行動に合わせて、覗くしかが出来るようにして、さまざまな穴を設けている。ファンキラーに囲まれている中央の空スペースは、ウサギを抱いたり、人とししゃべったり出来る場所とした。



平面図 1/20



立面図 1/20

部材表	
	× 30
	× 63






あや? こんなん所にウサギか!



近くで見てもよ!



気付かないように、そっと。



遊んでいる子、ウサギを探さず、それを「楽しもう」。



覗いてみたら、ここにウサギ。ウサギって隠るのには隠れちゃう...



ウサギを見つけたら、触ってみよう。


87

図面

優秀賞（日刊建設工業新聞社賞）

都城高専, primitive, 中馬賢次, 竹中 俊, 山下光成, 宮本梨沙, 佐田乃惟, 松本晋弥

primitive

left

roof

front

right

の材料表  
全断面部材 18本  
半断面部材 120本

E-Hは、木材をランダムに設置し、前に進むほどランダムさが増すデザインとし、それらは自然（原始）である「森」（あるいはカオス）を表現しました。  
また、AからHにつれてトンネルの天井の高さが低くなりそれにつれて、中を進んでいく子供も腰を曲げ、手を地につける様子も原始への回帰を表現しています。

31

優秀賞

豊田高専, Making Another Animals, 三宅正人, 加治屋周也, 吉田祐也, 渡邊健太郎

PROCESS

observation → image → discover & take up → compose → completion & link to them

1 基本パーツ

2 接合部の加工

3 基本ユニット

4 組立例ートトリ

Making Another Animals

図内に入ると、多くの動物種に出現えられる。密らは子供たちに様々な表情を見せ—

子供たちは彼らを見て、別に離れることで彼らとのつながりを感じる—

子供たちは無類にこの木のおもちゃを思いつく。興味本位に集ります—

子供たちはこのおもちゃで遊びながら、自らの想像力に任せ、もう一つの動物種をつくる—

つながりの証となるように—

基本パーツ

寸法図

接合部の加工

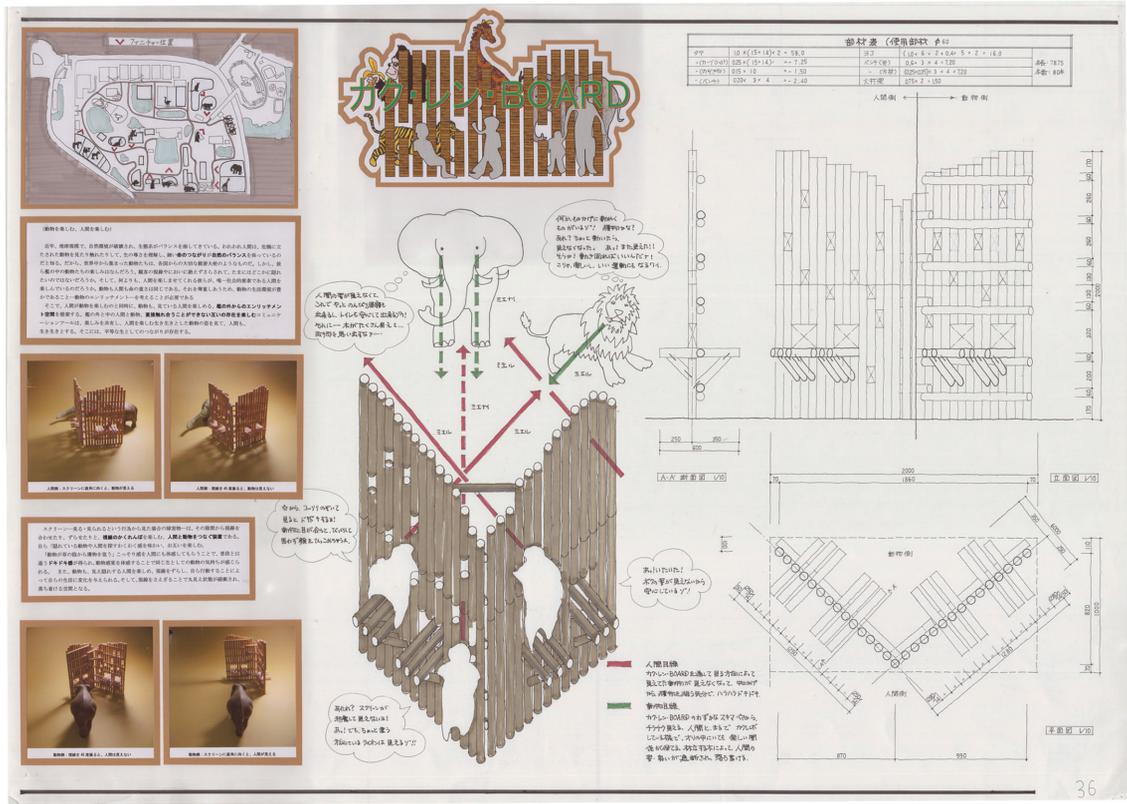
基本ユニット

組立例ートトリ

概念図

審査員特別賞（デザイン賞）

米子高専, カク・レン・BOARD, 上田輝美, 高柳秀明, 安井郁也, 田村謙人, 寺本哲郎, 澤 太介



審査員特別賞（技術賞）

徳山高専, アニスタ

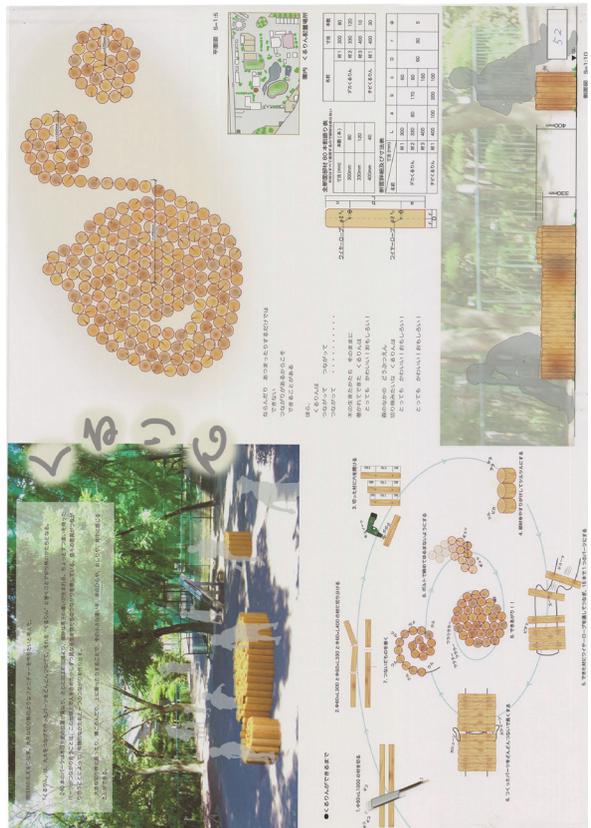
吉本海人, 杉山泰基, 友永尚  
松根幸太, 小林志海, 藤川大輝



審査員特別賞（アイデア賞）

明石高専, くるりん

山崎幸宏, 河西孝平, 黒木佑樹  
杉本正太, 本庄博希, 水谷昌稔



### 3. 点景



制作風景



審査風景



最優秀賞（周南市長賞）、米子高専、play\*search



優秀賞（日刊建設工業新聞社賞）、都城高専、primitive



優秀賞、豊田高専、Making Another Animals



審査員特別賞（デザイン賞）、米子高専、カク・レン・BOARD



審査員特別賞（技術賞）、徳山高専、アニスタ



審査員特別賞（アイデア賞）、明石高専、くるりん

## 4. 講評

**【審査委員長 山口大学大学院理工学研究科教授 内田文雄】**

ものづくり部門の課題は、徳山動物園の中に置くファニーチャーを直径6センチメートルの丸太を使ってつくるというものであった。まず、動物園という状況の中で起きる、人と動物、人と人、人と動物と環境との関係に介入することになる「もの」をどのように位置づけるか、という「関係のデザイン」が求められた。また、丸太という素材の特徴をどのように活かすか、そして、実際に動物園の中に置くということで求められる安全性、耐久性、などをどのように確保するか、加えて、実際に作る技術などが求められた。単純そうであるが難しい課題であった。

作品は、いくつかの傾向に分かれた。一つは、人が動物を見ようとする時、通常の状態と違う見え方ができるようにするための装置。次に、人と動物のより密接な関係づくりを促すための装置。また、園内に置かれる休憩のための家具。そして、丸太を使ってキット化したものを組み合わせて動物の姿を組み立てるような玩具的なものなどに大別できた。審査には、建築デザインの専門家、錦帯橋の修復を指揮した大工棟梁、動物園の園長の3名が当たった。評価の視点を決めて臨んだが、全員がこれだという感じで押せるものがなく、難しい審査となった。造形的に意欲的なものや、丸太のジョイント部の加工にこだわったものなどの作品もあったが、結局、実際に動物園の中で不特定多数の人が使う状況に置かれた時、安全かどうか大きな決め手となった。最優秀作品は、その意味で最もバランスがとれた作品であった。

ものづくりに関わる人には、大きく2つのことが求められているように思う。一つは、作ろうとしているものの意味やあり方を根本から考えるということである。そのものに対して社会が何を求めているかについて考える力をつけることである。二つ目は、求められていることに気がついた時、それを具体的な形に展開する技術力や、人に伝える表現力を身につけることである。

今回は、入賞した作品と、選に漏れた作品との間にさほど差はなかった様に思う。このコンペをきっかけに、ものづくりのプロを目指す皆さんのより一層の精進を期待します。

**【審査委員 周南市徳山動物園長 山本貴隆】**

『ものづくり』部門では、デザイン性や作品の完成度等の評価はもちろんですが、提案の実現性という意味で、安全性、使いやすさを重視し採点させていただきました。不特定多数の来園者がある動物園としては、まずお客様の安全が最優先です。細心の注意を払い、安全を確保することが求められます。また、その作品をどのように使えばその機能を十分に発揮できるかをお客様に分かりやすく伝えることも必要です。奇をてらうよりもお客様が安心して使用できることが多くの利用者があるところでは重要です。プレゼンテーションについても同様で、自分たちの思いをどのようにすれば、限られた時間で十分に伝えることができるかも大切な要素となり、思いが強いことが逆に分かりづらくしていることもあるようです。優秀作品をはじめ、数点動物園に展示してあります。作成者の意図とは少し違うところもあるようですが、お客様に快適に利用していただいています。

**【審査委員 岩国伝統建築協同組合組合長 海老崎桑次】**

考えた物を、実際に創る事は簡単な様で難しい事です。ものづくりの原点は、使う人への思いやりを持って、丁寧に作ると言う事に尽きます。丸太使用なので、接合部等にかなり苦労した様子が伺えました。アイデア・デザイン・技術性と言う観点から審査させて頂きました。使用した金属・ビス等は本来は隠す事が要求されます。作品とプレゼンとの差異に説明しづらく感じられる部分もありましたが、全体的には短期間で良くまとめる努力がなされていました。また、残材も少なくするなど各校配慮していた事は大変良かったです。ものづくりの魅力は、少し荒削りでも表現したいと言う強い意志にあります。時間を掛けて練り上げる事に価値があるのです。仕事は作る事も大切ですが、それ以上に後片付けも大切です。作品各々優劣の差は余りありません。高専生の自由な発想とパフォーマンスが、見る人を感動させる様な、若者らしい情熱と清廉さを持って、ものづくりに励んでください。大いに期待しています。

## スナップ／大会を支えた人たち

### ■ 会場準備

総合スポーツセンターを借り切った大会準備は、学生・教職員総動員で大会前日(11/15)の午後を全学休校にしての大仕事でした。学年・クラス毎に役割を分担し、競技やイベントのための資材運送・会場設営を行いました。学生実行委員のメンバーも臨機応変にそれぞれの役割を積極的にこなしてくれました。前日に行ったりハーサルでは、オープニングの確認が入念に行われました。

### ■ 受付

総合受付では徳山高専の学生と教職員が、ご来賓から競技参加者、そして一般市民まで約1500人以上の来場者に対応しました。来場者を迎えるにあたり、事前にマナー教育が行われ、スーツ姿の4年生が緊張感を持って取り組みました(写真2)。

### ■ 開会式

参加者全員が司会(地元テレビ局のアナウンサー)の合図で、徳山高専の学生の手作りによるLEDキーホルダーの光をシンクロさせた後、徳山高専 松本八希君(情報電子工学科2年)が、「大会テーマ“つながり”」をイメージして製作した、プロモーション映像が、特大スクリーンに映し出される中、学生実行委員長の中中美里さんの「あなたは、誰とつながっていますか・・・」とインターネット時代をテーマに人々の心に問いかけるメッセージが読み上げられ、そして足元から浮かび上がるLEDモニュメントで演出したオープニングは、会場にいる参加者の気持ちを一気に盛り上げてゆきました。

### ■ ウェルカムイベント

面出先生の講演に引き続き、徳山高専の学生が全国から集まった競技参加者を歓迎の気持ちを込めて行ったウェルカムパーティーでは、河村洋君と竹内結樹君(共に、徳山高専土木建築工学科5年)が進行役を務め、吹奏楽部がBGMを演奏する中、映画ロボコンの古厩監督からも応援メッセージを頂き、全国から集まった選手達も舞台上で意気込みを披露する等、大いに盛り上がりました。また、大会実施に多大なご支援を頂いた後援、協力団体の代表の方々、そして、審査員の方々からは、交歓会で大会の成功を祈念するメッセージを頂きました。

### ■ フグ鍋



大会を大いに盛り上げてくれたイベントに、ご当地名産の「フグ汁」サービスがありました。徳山高専の一般科目の先生方が鍋奉行を努め、3つの大鍋で大胆に炊き出した1000食のフグ汁の美味しさは来場者から絶賛されました。ふぐ汁の温かさと共に、会場の熱気も一層高まってゆきました。

### ■ 二胡演奏&回天太鼓

競技の中断した昼休みには、王丹さんの演奏する二胡の美しい調べがメイン会場に流れ、安らぎのひとつを演出してくれました。また、閉会式の前に行われた回天太鼓の勇壮な演奏では、徳山高専、徳山大学、そして、地元の回天太鼓保存会の皆さんが大会を盛り上げてくれました。

### ■ 閉会式

2日間の熱い競技を無事終えることができました。各部門の表彰が行われると共に、文部科学省高等教育局専門教育課企画官 坂口昭一郎様からねぎらいのお言葉があり、次回開催校の高松高専の塩谷幾雄校長から、「讃岐うどんを用意して待っています。」とのご挨拶がありました。

### ■ ポストイベント

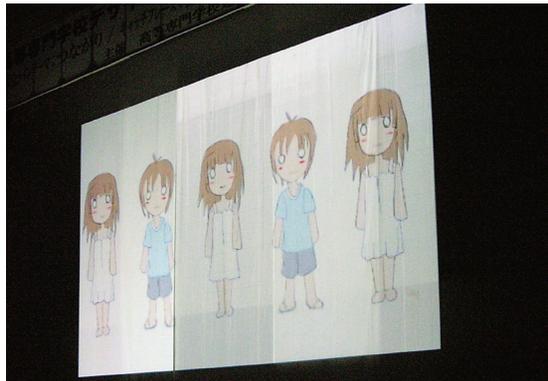
大会を終えた11月18日には、動物園でものづくり部門の優秀作品が、そして、徳山駅ビルには、環境、空間部門の入選作品を含めた優秀作品が展示されました。また、今回の大会では、LEDが大活躍をし、機械電気工学科の伊藤研究室の学生を中心に開会式を演出してくれたLEDモニュメントは、地域のクリスマスイルミネーションとして、周南市ツリーまつりや、ザ・モール周南で活躍することになりました。さらに、学校では、本校の3年生が本選で使用したLEDを使って校門前の飾り付けをしてくれました。



来賓受付風景



メインステージで行われた開会式



松本八希君の製作した映像に重ねて、  
田中美里さんがメッセージを読み上げた



ウェルカムイベントの様子（左上：進行役の竹内君（左）と河村君（右）、右上：吹奏楽部の演奏、左下：ウェルカムパーティー全景、右下：応援メッセージを送ってくれた映画ロボコンの古厩監督



盛り上がったふぐ鍋イベントの様子



手際よく準備されたふぐ汁



王丹さんの二胡演奏



大会を盛り上げた回天太鼓の演奏



閉会式で挨拶する坂口文部科学省高等教育局専門教育課企画官



閉会式で挨拶する次回開催校の塩谷校長



徳山駅2階で優秀作品の展示

平成19年11月19日(月)【日刊新周南】

●周南山●

# 徳山市街地構想や動物園への導入に期待 全国高専デザインコンペに1,200人

## 斬新なアイデアがずらり



「アニスタ」を製作する徳山高専生

ロボットコンテスト、作り、実行プログラムコンテストと委員長の田並本全国高等専門学校三村隆弘同高大イベントの一つ、全国専科が開高専デザインコンペティション2007 in 周南が16、17両日、周南市総合スポーツセンターで開かれ、千二百人が参加した。四部門で予選を勝ち抜いた三十三校、四百五十人がアイデアと技術を競い、照明デザイン部門の面出氏ら各分野の専門家の講演もあった。山動物園の人と動物のつながりが見える動物園設備製作の課題に、十人チームから動物を見られる「アニスタ」(テニマル)を提案した。米子別賞の技術賞を受賞した。最優秀の市長賞は米子高専の「Play Search」で、ウサギの隠れ家を子どもたちがのぞいたり入ったりできるアイデアが優れている。優秀作品は動物園に導入することも考えられている。



講演する面出さん

山高専からは吉本海人君ら二年チームが出場し、山駅周辺の街づくりや居住空間のアイデア、いっばい二十枚の模型がずらり。歩行者と住民のための公園兼路地を準備した「アニスタ」(テニマル)を提案した。米子別賞の技術賞を受賞した。最優秀の市長賞は米子高専の「Play Search」で、ウサギの隠れ家を子どもたちがのぞいたり入ったりできるアイデアが優れている。優秀作品は動物園に導入することも考えられている。

環境部門はLED照明を使った道で、同高専の木村未希さん四人の補助信号機「Police Signal」が優秀賞。美しいスライドを見ながら、照明の原点はすべて自然光の中にある。私たちがもう一度それをどう生活の中にデザインするかと考えよう」と話し、学生たちは熱心に聞き入った。

空閑デザイン部門は徳山駅周辺の街づくりや居住空間のアイデア、いっばい二十枚の模型がずらり。歩行者と住民のための公園兼路地を準備した「アニスタ」(テニマル)を提案した。米子別賞の技術賞を受賞した。最優秀の市長賞は米子高専の「Play Search」で、ウサギの隠れ家を子どもたちがのぞいたり入ったりできるアイデアが優れている。優秀作品は動物園に導入することも考えられている。

開会式後の講演はJR京都駅や六本木ヒルズの面出薫氏が「光の環境デザイン」の演題で話した。面出さんは夕日木もれ日、ろうそくなどの美しいスライドを見ながら、照明の原点はすべて自然光の中にある。私たちがもう一度それをどう生活の中にデザインするかと考えよう」と話し、学生たちは熱心に聞き入った。

平成19年11月20日(火)【中国新聞】

### 周南でデザイン高専生アイデア競う

徳山市街地構想や動物園への導入に期待、斬新なアイデアがずらり。全国高専デザインコンペに1,200人が参加した。

### 夜空に貝響く

2周間の制作期間を経て、徳山市街地構想や動物園への導入に期待、斬新なアイデアがずらり。全国高専デザインコンペに1,200人が参加した。

### 斬新さに笑顔も

会場には笑顔も、斬新さに笑顔も。多くの来場者が説明に聞き入った。

### 活用策を提案

JR徳山駅周辺の活性化策を提案する高専生(手前右)。まちづくりを生かせることあって、多くの来場者が説明に聞き入った。

### 特集

クリンや機織、パネルを競う高専生アイデア。斬新さに笑顔も。多くの来場者が説明に聞き入った。

### 活用策を提案

JR徳山駅周辺の活性化策を提案する高専生(手前右)。まちづくりを生かせることあって、多くの来場者が説明に聞き入った。



# 協賛企業・団体名一覧

全国高等専門学校デザインコンペティション 2007 in 周南は、全国の企業・団体より多くのご支援をいただきました。厚くお礼を申し上げます。

## 特別協賛

若築建設株式会社  
山崎建設株式会社  
日亜化学工業株式会社

前田道路株式会社  
株式会社建築資料研究社／日建学院  
有限会社トリコン

## 協 賛

### ▼あ

アオイ不動産有限会社

### ▼か

鹿野興産

### ▼さ

株式会社三基商会  
株式会社シマヤ  
周南近鉄タクシー株式会社  
周南青年会議所  
昭和電工株式会社徳山事業所  
新南陽商工会議所  
株式会社総合資格

### ▼た

太平洋セメント株式会社  
太平洋マテリアル株式会社  
株式会社竹上電機商会  
チューケン株式会社  
株式会社東京測器研究所福岡営業所  
東ソー株式会社南陽事業所  
東ソー・ファインケム株式会社  
株式会社トクヤマ  
徳山商工会議所  
豊橋技術科学大学

### ▼な

長岡技術科学大学環境・建設系  
日商エレクトロニクス株式会社中国支店  
日新製鋼株式会社周南製鋼所  
日本ポリウレタン工業株式会社南陽本部  
有限会社乗川地研

### ▼は

株式会社防長トラベル

### ▼ま

株式会社ムネスエ

### ▼や

山口県森林組合連合会  
山口県生コンクリート工業組合

### ▼わ

若山石油株式会社

### ▼同窓会・後援会・テクノアカデミア

徳山工業高等専門学校同窓会  
〃 後援会  
〃 テクノアカデミア

(五十音順・敬称略)

## 委員紹介

● 全国高等専門学校デザインコンペティション実行委員会（設置：高等専門学校連合会）

委員長	平野 千博	開催主管校校長	徳山工業高等専門学校
委員	千葉 忠弘	北海道地区	釧路工業高等専門学校
	丸岡 晃	東北地区	八戸工業高等専門学校
	尾立 弘史	関東信越地区	小山工業高等専門学校
	三島 雅博	東海北陸地区	豊田工業高等専門学校
	小川 一志	近畿地区	和歌山工業高等専門学校
	田村 隆弘	中国地区	徳山工業高等専門学校
	太田 貞次	四国地区	高松工業高等専門学校
	須田 量哉	九州沖縄地区	都城工業高等専門学校

● 全国高等専門学校デザインコンペティション開催地委員会（設置：徳山工業高等専門学校）

大会委員長 平野 千博 校長  
 大会実行委員長 田村 隆弘 土木建築工学科・教授  
 （総務委員会）

委員長	重松 恒美	土木建築工学科・教授
委員	森野 数博	（教務主事）・教授
	上 俊二	（学生主事）・教授
	池田 信彦	（寮務主事）・教授
	天内 和人	専攻科長・教授
	藤田 重隆	機械電気工学科主任・教授
	江口 賢和	情報電子工学科主任・教授
	橋本 堅一	土木建築工学科主任・教授
	原田 幸雄	一般科目主任・教授
	中川 明子	土木建築工学科・助教（パンフレット・記録編集）
	張間 貴史	機械電気工学科・准教授（ホームページ制作・管理）
	渡辺 勝利	土木建築工学科・准教授（会場設営・警備）
	森下 克彦	事務部長
	近藤 尚美	総務課長
	空 俊雄	学生課長

（企画委員会）

委員長	田村 隆弘	土木建築工学科・教授
委員	原 隆	〃 ・教授（構造デザインコンペティション WG 長）
	伊藤 尚	機械電気工学科・教授（環境デザインコンペティション WG 長）
	古田 健一	土木建築工学科・准教授（空間デザインコンペティション WG 長）
	工藤 洋三	〃 ・教授（ものづくりコンペティション WG 長）

全国高等専門学校デザインコンペティション 2007 in 周南記録集

発行 高等専門学校連合会 平成 20 年 3 月

編集 全国高専デザコン開催地委員会（徳山工業高等専門学校）